

令和 2 年度
(2020)

第一部

学生募集要項

第二部

鹿児島県立短期大学

目 次

☆ 鹿児島県立短期大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
I 令和2年度入学者選抜	5
1 学科及び募集人員等	5
2 出願期間・入試日・発表日・入学手続期間	5
II 一般入試	6～9
III 推薦入試	10～14
IV 特別推薦入試	15～21
V 社会人入試	22～26
VI 有職者特別入試	27～30
VII 私費外国人留学生入試	31～36
VIII 転学・再入学選考	37～39
IX 共通事項	
1 入学志願票等の記入上の注意	40
2 入学検定料	40
3 志願票送付先	41
4 試験会場	41
5 受験上の注意	41
6 入学手続	42
7 追加合格の連絡方法等	42
8 問い合わせ先	42
9 入学資格審査	43～44
10 身体に障害等を有する入学志願者の事前相談	45
《入試に関する参考資料》	46～53
・ 証紙販売人一覧	54～55
・ 入学志願票記入例	56
X 入学志願票・宛名シール（綴じ込み）	

※ この学生募集要項の内容について変更が生じた場合には、本学ホームページで お知らせいたします。

★ 鹿児島県立短期大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【教育理念・目標】

鹿児島県立短期大学は、第一部（昼間）に3学科6専攻、第二部（夜間）に商経学科の1学科を設置した、男女共学の総合的公立短期大学です。

本学の教育目標は、「深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな教養と、職業又は実際生活において必要な課題探求・解決能力を有する人材を育成し、もって地域社会の発展に寄与する」ことです。この目標にそって、本学では以下のような人を求めています。

- 1 基礎的な学力を身につけて、地域社会において意欲的に活躍する人
- 2 世界の中で思考し、地域に根ざした活動のできる人
- 3 少人数教育の場に意欲をもって参加する人
- 4 創造的な行為を生む知的な冒険をする人

<文 学 科>

区分	日本語日本文学専攻	英語英文学専攻
教育 理 念 ・ 目 標	<p>文学科は、「文学，言語，文化を学ぶことを通して，豊かな文学的感性，柔軟な思考力，的確な表現力を有し，多様化した社会で活躍できる人材を育成する」ことを教育理念としています。</p> <p>日本語日本文学専攻は、「日本語及び日本文学の理論を学び，作品を読むことを通して，日本語に関する知識と表現力，日本文学を広くかつ深く解釈し鑑賞する能力を有し，多様化した地域社会で活躍できる人材の育成」を目標にしています。この目標を達成するために，古文・漢文を含む文献講読や演習を重視したカリキュラムとなっています。</p>	<p>英語英文学専攻は，「英米文学，英語学，英語圏文化を学ぶことを通して，英語運用能力と豊かな教養を有し，多様化した国際社会に対応できる人材の育成」を目標にしており，英語の実践的運用能力を高めるよう，少人数制の徹底した演習方式の授業を行います。</p>
求 め る 人 材	<ol style="list-style-type: none"> ① 日本語の歴史の変遷や方言など言語に興味・関心のある人 ② 日本の古典文学や近・現代文学に興味・関心のある人 ③ 中国の文学や中国語に興味・関心のある人 ④ 日本語教育を通じた国際交流に興味・関心があり，実際に活動をしたい人 ⑤ 中学校教諭二種免許状（国語）を取得して，国語教育にかかわる進路を目指す人 	<ol style="list-style-type: none"> ① 英語運用能力の習得に強い熱意をもつ人 ② 英米文学，英語学，英語圏文化の学習に興味・関心のある人 ③ 国際交流にかかわる活動に，英語力を生かして積極的に参加したい人 ④ 本学の編入学協定制度を通して，海外の大学に留学したい人 ⑤ 中学校教諭二種免許状（英語）を取得して，英語にかかわる仕事に就こうと考えている人 ⑥ 英語の各種検定の資格取得に熱意のある人
受 入 方 針	<p>大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。</p> <p>大学入試センター試験では，国語，英語（リスニングを含まない），地歴・公民の基礎学力を判定します。</p> <p>個別学力検査では，高等学校の学習一般を前提として，記述式問題により，論理的思考力や言語等による表現力を総合的に問う問題を課します。具体的には，現代文及び古文・漢文を含む文章問題を中心にして，日本語日本文学専攻で必要とする知識や，表現力，論理的な思考力を確認します。</p>	<p>大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。</p> <p>大学入試センター試験では，英語（リスニングを含む），国語，地歴・公民の基礎学力を判定します。</p> <p>個別学力検査では，高等学校の学習一般を前提として，英語読解力，英語表現力等を判定するため，記述式問題により，論理的思考力や言語等による表現力を総合的に問います。具体的には，多分野にわたる英語長文読解と自由作文を中心として，英語英文学専攻で必要とするリーディング，ライティングの能力及び論理的思考力等を問います。</p>

受 入 方 針	<p>小論文，面接，調査書等の総合評価により，入学者の選抜を行います。</p> <p>小論文では，高等学校において履修する国語（古文・漢文を範囲に含む）を題材に，言語や文学に対する関心や問題意識，読解力，文章表現力等を確認します。</p> <p>面接では，志望理由書および調査書特記事項を参考資料として，志望動機や意欲を見るときともに，口頭による表現能力や判断力を確認します。</p> <p>調査書では，全体の評定だけでなく国語の成績も重視します。また，高等学校における活動・経験なども（面接の中で本人から確認したうえで）評価に加えます。</p>	<p>英語英文学専攻への入学に対する強い目的意識を持ち，入学後に意欲的，主体的に行動できるかを，小論文，面接，調査書等の総合評価により判定します。</p> <p>小論文では，英語英文学専攻で求められる幅広い教養や，多様化した現代社会に対する問題意識を把握できるような問題を課し，修学上必要な読解力，分析力，考察力，論理的思考力，文章表現力等を確認します。</p> <p>面接では，志望動機・意欲や体験・思考等を説得力をもって伝えられるかを確認します。また，実践的英語運用能力を重視し，面接では，実用英語技能検定の二次試験のようなものを課します。さらに，実用英語技能検定などの取得については高く評価します。</p>
------------------	---	--

<生活科学科>

区分	食物栄養専攻	生活科学専攻
教育理念・目標	生活科学科は，「衣・食・住を中心とする生活全般を対象とした実践的な専門知識と技能の習得を通して，柔軟な思考力及び判断力を有し，地域社会に貢献できる人材を育成する」ことを教育理念としています。	生活科学専攻は，「衣及び住を中心とする生活全般に関わる専門知識の習得を通して，生活に関わる事象を科学的に分析・理解する能力及び質の高い生活環境をデザインする能力を有し，地域社会に貢献できる人材を育成する」ことを目標としています。
求める人材	<ul style="list-style-type: none"> ① 食生活や健康と運動に幅広い関心を持つ人 ② 「食生活を科学する」ということに興味を持ち，自ら学習し追究する意欲のある人 ③ 楽しい食事を創造するための調理や食品加工に興味・関心のある人 ④ 将来，栄養士として人々の健康づくり，栄養改善に貢献しようという意欲のある人 ⑤ 栄養教諭二種免許状を取得して，栄養教育にかかわる進路を目指す人 	<ul style="list-style-type: none"> ① 身の回りにあるものの成り立ちやデザインに興味があり，実践的に学びたい人 ② 自然・社会・文化環境など多様な視点で生活について学びたい人 ③ 生活の課題を認識し，問題解決を目指して新たな生活スタイルを創造していきたい人 ④ 中学校教諭二種免許状（家庭）や住居・デザイン関連の資格取得に関心のある人
一般入試	<p>大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。</p> <p>大学入試センター試験では，国語，英語，理科（生物・化学）または数学の基礎学力を判定します。</p> <p>個別学力検査では，高等学校の学習一般を前提として，自然科学に関連した分野について，記述式により，総合問題を課し，論理的な思考力，分析力，理解力及び表現力を確認します。</p>	<p>大学入試センター試験と個別学力検査（面接）の総合評価により入学者の選抜を行います。</p> <p>大学入試センター試験では，国語，英語，および選択科目として地歴・公民，理科または数学の基礎学力を判定します。</p> <p>面接では，志望動機や生活科学専攻で学びたい領域およびこれまでの活動や経験（資格・検定，特技，生徒会活動，クラブ活動，社会活動等）を確認します。それにより，専攻への適性や自分の考えを的確に表現する力を総合的に判断します。</p>
推薦入試	<p>小論文では，高等学校を卒業した者にふさわしい学力，食物栄養専攻で求められる問題意識及び適性の有無に関して判断できるような問題を課し，自然科学に関連した分野について，論理的な思考力，分析力，理解力及び表現力を確認します。</p> <p>面接では，志望動機や意欲等を確認します。調査書・志望理由書では，全体の評定及び高等学校における活動・経験と資格等を評価に加えます。</p>	<p>小論文では，高等学校を卒業した者にふさわしい学力，生活科学専攻で求められる問題意識及び適性の有無に関して判断できるような問題を課し，修学上必要な読解力・分析力・考察力・論理的思考力・文章表現等を判定します。</p> <p>面接では，生活科学専攻への入学意欲，勉学意欲，生活科学専攻への適性などを総合的に判断します。</p>

<商経学科>

区分	経済専攻	経営情報専攻
教育理念・目標	商経学科は、「広く世界、日本、地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し、情報処理の技法習得を通して、柔軟な思考力と企画力を有し、地域に貢献できる人材を育成する」ことを教育理念としています。	
	経済専攻は、「経済・社会の理論を学び、地域社会や産業の分析を通して、地域の課題を発見する能力、課題解決の意欲と能力を有し、地域経済の発展に寄与できる人材を育成する」ことを目標としています。	経営情報専攻は、「経営や組織の理論を学び、会計・情報処理の技能習得を通して、ビジネスを企画・管理する意欲と能力を有し、地域産業の発展に寄与できる人材を育成する」ことを目標としています。
求める人材	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域社会で起こっている社会的な動向に興味や関心をもつ人 ② 日々世界的規模で変動する経済現象を理論的に裏付けながら理解しようとする人 ③ 経済活動をはじめとするさまざまな社会参加の形態に関心をもつ人 	<ul style="list-style-type: none"> ① 企業の活動をその実際的な形から理解しようとする人 ② ビジネスにおけるIT活用の技能習得を目指す人 ③ 会計に関する知識・技能を習得しようとする人
入試	<p>大学入試センター試験では、国語、外国語、地歴・公民または数学により、基礎学力の到達度を評価します。</p> <p>個別学力検査では、記述式の教科横断的な総合問題によって、複数の資料や文章を読み解き、それらを総合して考察する力、論理的に思考する力、自分の考えを的確に文章で表現する力、経済・社会に関する知識・関心の高さを評価します。</p>	
	<p>小論文によって、経済・社会に関する関心の高さ、柔軟かつ論理的に思考する力、自分の考えを文章で的確に表現する力を評価します。また、推薦書や志望理由書等を参考資料とした面接によって、本学科入学に対する目的意識や意欲、コミュニケーション能力、技能や資格等を総合的に判断します。</p> <p>さらに、本学科でより高度な学問を習得する意思と適性を持つ意欲的な学生を選考するために、調査書による評価を行います。調査書では、高校在学中の成績を評価することに加えて、IT・会計・外国語等に関する技能検定や資格の取得、文化・スポーツ活動等での受賞歴等も評価します。</p>	
針	<p>学習意欲の旺盛な社会人に広く門戸を開くことを目的とした入試制度であり、小論文によって、経済・社会に関する関心の高さ、柔軟かつ論理的に思考する力、自分の考えを文章で的確に表現する力を評価するとともに、面接を通して、本学科入学に対する目的意識や意欲、コミュニケーション能力等を評価します。</p>	

<第二部商経学科>

区分		第二部商経学科
教 目 育 標 理 念 ・		第二部商経学科は、「広く世界、日本、地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し、情報処理の技法習得を通して、柔軟な思考力と企画力、そして豊かな人間関係の構築力を有し、地域活性化のために活躍できる人材を育成する」ことを教育理念としています。
求 め る 人 材		① 働きながら社会に触れ、体験したことを大学で理論的に再確認してみようとする人 ② 地域社会で起こっている社会的な動向に興味や関心をもつ人 ③ 会計やITの知識・技能の習得を目指す人
受 入	一 般 入 試	県下唯一の夜間課程である第二部商経学科では、入試の負担を減らし、社会人を含む多様な人材に広く門戸を開くため、大学入試センター試験は課さず、個別学力検査のみで選抜を行います。 個別学力検査では、総合問題、もしくはその他の記述式試験によって、経済・社会に関する知識・関心の高さ、柔軟かつ論理的に思考する力、自分の考えを文章で的確に表現する力を評価します。
方 針	特 別 推 薦	小論文によって、経済・社会に関する関心の高さ、柔軟かつ論理的に思考する力、自分の考えを文章で的確に表現する力を評価します。また、推薦書や志望理由書等を参考資料とした面接によって、本学科入学に対する目的意識や意欲、コミュニケーション能力、高校在学中あるいは社会での経験、技能や資格等を総合的に判断します。
	有 別 入 者 特 試	学習意欲の旺盛な有職者、就職内定者、過去に職に就いた経験がある者に広く門戸を開くことを目的とした入試制度であり、面接を通して、本学科入学に対する目的意識や意欲、経済・社会に対する関心の高さ、コミュニケーション能力等を評価します。

I 令和2年度入学者選抜

1 学科及び募集人員等

課程	学科	専攻	入学定員	募集人員					
				一般入試	推薦入試	特別推薦入試	社会人入試	有職者特別入試	私費外国人留学生入試
(昼間課程)	文 学 科	日本語日本文学専攻	30名	20名	10名	—	—	—	若干名
		英語英文学専攻	30名	20名	10名	—	—	—	
	生活科学科	食物栄養専攻	30名	20名	10名	—	—	—	
		生活科学専攻	30名	17名	13名	—	—	—	
	商経学科	経済専攻	35名	25名	10名	—	若干名	—	
		経営情報専攻	40名	25名	15名	—	若干名	—	
第二部 (夜間課程)	商経学科		60名	30名	—	30名	—	若干名	—
合 計			255名	157名	68名	30名	若干名	若干名	若干名

- (注) 1 一般入試(第一部)は、大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査の組み合わせにより実施し、一般入試(第二部)は本学が実施する個別学力検査のみにより実施する。
 2 全ての学科専攻での推薦入試、特別推薦入試(第二次選考を含む)の募集人員に欠員が生じた場合は、一般入試の募集人員に加える。

2 出願期間、入試日、発表日、入学手続期間

区分	出願期間	入試日	発表日	入学手続期間
○ 第一部 推薦入試	令和元年 11月11日(月) ┆ 11月15日(金)	令和元年 12月6日(金)	令和元年 12月16日(月)	令和2年 3月11日(水) ┆ 3月13日(金) 午前9時～午後4時
○ 第二部 特別推薦入試				
○ 第一部 社会人入試				
○ 私費外国人 留学生入試	令和元年 11月11日(月) ┆ 11月15日(金)	令和元年 12月17日(火)	令和2年 1月14日(火)	
○ 一般入試 個別学力検査	令和2年 1月27日(月) ┆ 1月31日(金)	令和2年 2月19日(水)	令和2年 3月5日(木)	
○ 第二部 有職者特別入試	令和2年 2月17日(月) ┆ 2月21日(金)	(面接) 令和2年 3月3日(火)	令和2年 3月9日(月)	令和2年 3月12日(木) ┆ 3月16日(月)

※ 転学・再入学選考の出願期間・試験日等は、37～39ページを参照。

Ⅱ 一般入試

1 学科及び募集人員等

課程	学科	専攻	募集人員	修業年限	備考	
第一部 (昼間課程)	文学科	日本語日本文学専攻	20名	2年		
		英語英文学専攻	20名			
	生活科学科	食物栄養専攻	20名	2年		
		生活科学専攻	17名			
	商経学科	経済専攻	25名	2年		一般入試については経済専攻と経営情報専攻とを併願できる。
		経営情報専攻	25名			
計			127名	—		
第二部 (夜間課程)	商経学科		30名	3年	第二部の授業は18時から21時10分まで。	
合計			157名	—		

(注) 一般入試(第一部)は、大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査の組み合わせにより実施し、一般入試(第二部)は本学が実施する個別学力検査のみにより実施する。

2 出願資格

- (1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び令和2年3月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要がある。(43ページを参照)
- ※ 入学を志願する者で、他の短期大学に在学中の者に対しては、転学の制度もあるので、希望者は本学教務課へ照会すること。

3 出願期間

令和2年1月27日(月)～1月31日(金) (郵送の場合は1月31日(金)消印有効)

- ・受付時間は、午前9時から午後4時まで。
 - ・受験票が未着の場合は、学力検査の前日までに、本学教務課に問い合わせること。
- 《参考》大学入試センター試験の出願期間 令和元年9月30日(月)～10月10日(木)

4 出願書類等

出願書類等		摘 要
①	入学志願票	共通事項「入学志願票等の記入上の注意」(40ページ)をよく読んで記入すること。
	写真票及び受験票	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真(縦4cm, 横3cm)を写真票及び受験票の所定の欄に貼付すること。 なお, 受験時に眼鏡を着用する者は, 眼鏡を着用して撮影すること。
	宛名シール	郵便番号, 住所及び氏名を記入すること。(合格通知や入学手続書類等の送付用)
②	調 査 書	出身高等学校において作成したもの。 高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定に合格した者を含む。)は合格成績証明書をもって調査書に代えることができる(合格証明書は不可)。なお, 高等学校卒業程度認定試験合格者で, 高等学校等で科目を修得し, 受験科目を一部免除された者は, その免除された科目の高等学校等の調査書, 又は成績証明書を添えること。 (注) 調査書等は, 平成31年4月以降に発行され, 厳封したものを提出すること。〈ワープロ可〉
		生活科学科生活科学専攻のみ 自己アピール書(A4用紙2枚以内)
③	入学検定料	第一部 18,000円 第二部 18,000円 入学検定料の納入方法は, 共通事項「入学検定料」(40ページ)に記載。

(注1) 事情によっては, 本人が①, ③を直接提出し, ②を出身学校長から提出してもよい。

廃校または被災などにより, ②が得られない場合には, これに代わる書類を提出しても差し支えない。

(注2) 2学科以上(又は2専攻以上)に出願手続をすることはできない。また, 第一部と第二部の併願もできない。

ただし, 第一部商経学科においては, 希望者は経済専攻と経営情報専攻とを併願できる。(この場合でも③の入学検定料は18,000円で可)

5 出願手続

志願者は, 出願書類等を取りまとめ, 出願期間内に, 本学教務課へ提出すること。

出身学校において, 取りまとめて提出してもよい。

- 郵送の場合は, 出願書類等を取りそろえ, この要項に折り込んである本学所定の封筒に入れ, 封筒表面・裏面の必要事項を記入又はチェックの上, 必ず書留速達郵便で発送すること。
また, 受験票返送用として, 氏名, 住所, 郵便番号を記入し, 84円切手を貼付した封筒(長形3号12.0cm×23.5cm)を同封すること。
- 直接, 持参して提出する場合は, 受理の際, 受験票を交付する。生活科学科生活科学専攻を志願する場合は, 受験票に代えて受領証を交付し, 後日受験票と面接時間帯のお知らせを郵送するので, 上記の(1)と同様の返信用封筒を提出すること。

6 学力検査の期日

本学において行う個別学力検査の期日 令和2年2月19日(水)

- 試験当日は, 本学の受験票, 大学入試センター試験受験票(第二部商経学科受験者は除く。), 筆記用具を持参すること。
なお, センター試験受験票を紛失した者は, 本学教務課まで連絡すること。
- 受験者は受験前日, 令和2年2月18日(火)午後1時から午後4時までの間に試験場を下見し, 試験場の位置を確認するとともに, 掲示板に掲示してある時間割等をよく見ておくこと。

《参考》大学入試センター試験の期日 令和2年1月18日(土)～19日(日)

7 学力検査の教科・科目等

本学における個別学力検査は、高等学校の学習一般を前提として、次の教科について行う。
 なお、第一部における大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び個別学力検査は次表のとおりである。

学 科	専 攻	大学入試センター試験の利用教科・科目		個別学力検査	
		教 科	科 目 名 等		
文 学 科	日本語日本文学専攻	国 語 地理歴史・公民 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、 「倫理」、「政治・経済」、「倫理,政治・経済」 「英語」(リスニングを含まない)	「から1」	国語 出題範囲 国語総合 現代文B 古典B
	英語英文学専攻	国 語 地理歴史・公民 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、 「倫理」、「政治・経済」、「倫理,政治・経済」 「英語」(リスニングを含む)	「から1」	外国語 出題範囲 下記※を参照
生活科学科	食物栄養専攻	国 語 数 学 理 科 外国語	「国語」 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、 「数学Ⅱ・数学B」 「化学」、「生物」、「化学基礎」および「生物基礎」 「英語」(リスニングを含む)	「から1」	総合問題
	生活科学専攻	国 語 地理歴史・公民 数 学 理 科 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、 「倫理」、「政治・経済」、「倫理,政治・経済」 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、 「数学Ⅱ・数学B」 「化学」、「生物」、「化学基礎」および「生物基礎」 「英語」(リスニングを含む)	「から1」	面接
商 経 学 科	経 済 専 攻	国 語 地理歴史・公民 数 学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、 「倫理」、「政治・経済」、「倫理,政治・経済」 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・ 数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 (「英語」はリスニングを含まない)	「から1」	総合問題
	経 営 情 報 専 攻	国 語 地理歴史・公民 数 学 外国語	「国語」 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、 「倫理」、「政治・経済」、「倫理,政治・経済」 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・ 数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 (「英語」はリスニングを含まない)	「から1」	総合問題
第二部 商 経 学 科		大学入試センター試験は課さない。			総合問題

- ①「国語」と「外国語」以外の選択科目については、最も得点の高い科目を合否判定に利用する。
 ただし、「地理歴史・公民」及び「理科(基礎を付していない)」において2科目を受験した場合、第2解答科目は合否判定に利用しない。
- ②「化学基礎」および「生物基礎」は2科目を受験し、その合計点とする。
- ③英語英文学専攻・食物栄養専攻・生活科学専攻を受験する場合、英語のリスニングテストを受験しなかった者は、英語を受験しなかったと見なし、失格とする。
 ただし、大学入試センターの受験特別措置により「英語」のリスニングテストが免除された者については、失格とはせず、英語の筆記テストの点数を各専攻の配点に応じて換算する。

※ 文学科英語英文学専攻の個別学力検査「外国語」の出題範囲については次のとおり。
 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ

8 個別学力検査時間割

課程・学科		時間	試験室入室時刻	9:10	12:40
		試験時間	9:30～11:00	13:00～14:30	
第一部	文 学 科	日本語日本文学専攻	国 語	—	
		英語英文学専攻	外 国 語	—	
	生活科学科	食物栄養専攻	総 合 問 題	—	
		生活科学専攻	面接（※参照）		
	商経学科	経 済 専 攻	—	総 合 問 題	
経 営 情 報 専 攻		—	総 合 問 題		
第二部	商経学科		—	総 合 問 題	

(注) 第一部商経学科の併願希望者は、第一志望の試験室で受験すること。

※ 生活科学科生活科学専攻の面接について

(1) 面接の実施方法および評価基準

一人あたり8～10分の個人面接を行う。

面接では、志望動機、学びたい領域およびこれまでの活動や経験（資格・検定、特技、生徒会活動、クラブ活動、社会活動等）を中心に質問し、①学問への関心 ②コミュニケーション能力 ③社会性を評価項目として採点する。面接の資料として、自己アピール書を出願書類とともに提出する。

(2) 自己アピール書

これまで取り組んできた学習・クラブ活動・社会活動などの成果の概要や取得した資格・検定、受賞歴、作品の画像などの中からアピールしたいことをA4サイズの用紙（片面）2枚以内にまとめる。様式や表現方法の指定はないが、枚数は厳守すること。（51ページ「自己アピール書」の書き方Q&Aを参照）

(3) 面接の日時

令和2年2月19日（水）

面接時間帯	集合時刻	面接時間
A	8:30	9:00～11:00
B	10:30	11:00～12:45
C	12:30	13:00～15:00
D	14:30	15:00～17:00

(注) 面接時間帯についてのお知らせは、出願受理後に受験票とともに郵送する。

志願者が多い場合には、さらに時間帯を追加することがある。

9 合格判定

大学入試センター試験の成績（第二部商経学科を除く。）及び本学が実施する個別学力検査の成績の総合得点により順位付けを行い、合格を決定する。

10 合格者発表

合格者は、令和2年3月5日（木）午前10時に本学掲示板及びホームページに受験番号を掲示するとともに、合格通知及び入学手続き書類を郵便で本人に発送する。（不合格者には通知しない。）

(注) 電話や電子メールによる合否の問い合わせには応じない。

11 入学手続

合格者は、令和2年3月11日（水）～13日（金）午前9時から午後4時までに入学手続をしないと入学できない。

12 追加合格等

- (1) 入学手続締切り後に、入学辞退等により欠員が生じた場合、追加して合格者を発表する。
- (2) 追加合格の判定で、調査書等を参考にすることがある。
- (3) 追加合格による欠員補充が困難なときは、第2次募集を行うことがある。

Ⅲ 推薦入試

1 推薦入試制度の趣旨

本学における推薦入試制度は、昭和59年度商経科（旧）が県内の商業系学科を有する高等学校の卒業見込みの者に対して導入したのをはじめとして、現在では第一部のすべての学科・専攻で行われている。

この制度は、画一的な選抜試験の弊害をなくし、広く高等学校に門戸を開いて、本学の各学科・専攻で、更に高度な学問を修得する意志と適性とをもつ、多様で有能な学生を発掘しようとするものである。従って、この制度における選考は、高等学校長の推薦に基づいて、一般入試とは別の選考方法によって行われる。

※商経学科においては、令和元年度入試より、第二部商経学科の特別推薦入試で募集人員に欠員が生じた場合に限り、推薦入試に合格しなかった者のうち希望者を対象に、第二次選考を実施する。これは、推薦入試の合格発表後に就職等への進路変更を行う受験者に対して進学の門戸をより広げることを目的とする。（詳細は p.15 以降に記載）

2 選考方法

高等学校長の推薦に基づく推薦書、志望理由書、調査書、選考試験（小論文）及び面接の結果を総合判定し、一般入試学力検査を免除して合格者を決定する。

また、第一部商経学科では県立の公立短大として地域の教育環境に配慮して選考する。

3 推薦入試を実施する学科・専攻・募集人員・対象高等学校・対象学科

課 程	学 科	専 攻	募集人員	対象高等学校	対象学科
第 一 部 (昼間課程)	文 学 科	日本語日本文学専攻	10名	鹿児島県内に 本校を有する 高等学校	全 科
		英語英文学専攻	10名		全 科
	生活科学科	食物栄養専攻	10名		全 科
		生活科学専攻	13名		全 科
	商 経 学 科	経 済 専 攻	10名		全 科
		経 営 情 報 専 攻	15名		全 科

4 対 象 者

対象高等学校を令和2年3月卒業見込みの者〔学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中においても、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められる者も含む。〕で、次のいずれにも該当する者

- (1) 高等学校の学業成績・人物ともに優秀な者で、日本語日本文学専攻においては全体の評定平均値が4.0以上の者または国語の評定平均値が4.3以上の者、日本語日本文学専攻以外の専攻においては全体の評定平均値が4.0以上の者
- (2) 更に高度な学業を修得する熱意と能力を有し、学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、第一部商経学科の推薦入試を受験する者のうち、同時に第二部商経学科の特別推薦入試（第二次選考）への出願を希望する場合、出願時には第二部商経学科への入学を確約する必要はない。ただし、第二部特別推薦入試（第二次選考）の合格者で第二部商経学科への入学を確約する者は、入学確約書を第一部商経学科の推薦入試合格者と同じ期日に提出すること。

5 推薦人員

課程	学 科	専 攻	推 薦 人 員
第一部 (昼間課程)	文 学 科	日本語日本文学専攻	各校2名以内とする。
		英語英文学専攻	各校1名とする。
	生活科学科	食物栄養専攻	家庭系(注)は各学科1名とし、 その他は各校1名とする。
		生活科学専攻	各校の各学科から2名以内とする。
	商 経 学 科	経 済 専 攻	各校の各学科から1名とする。
		経 営 情 報 専 攻	同 上

(注) 家庭系学科の範囲は、家政科・食物科・生活科学科・生活文化科・調理科・生活デザイン科とする。
そのほか、農業系学科の生活科、福祉系学科の生活福祉科(生活コースのみ)及びその他専門系学科の生活情報科(生活コースのみ)を含む。

* 1校に複数の課程(全日制、定時制、通信制)がある場合、各々の課程を1校とみなす。

6 出願期間

令和元年11月11日(月)～11月15日(金) (郵送の場合は11月15日(金)消印有効)

受付時間は午前9時から午後4時まで。

7 出願書類等

出願書類等		摘 要
①	入学志願票	共通事項「入学志願票等の記入上の注意」(40ページ)をよく読んで記入すること。
	写真票及び受験票	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真(縦4cm, 横3cm)を写真票及び受験票の所定の欄に貼付すること。 なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用して撮影すること。
	宛名シール	郵便番号、住所及び氏名を記入すること。(合格通知や入学手続書類等の送付用)
②	志望理由書	受験者本人が記入すること。 文化・芸術・技能面において顕著な成績や資格があれば記載し、それを証明できる書類(写し, A4サイズとする)も添付すること。(ただし、出願書類等提出後に取得した資格等があれば、写しを面接当日に持参の上、面接教員に提出すること。) (ワープロ可)
③	調査書	出身高等学校において作成したもの。 (注) 調査書は、平成31年4月以降に発行され、厳封したものを提出すること。 (ワープロ可)
④	高等学校長の推薦書	特に著しい推薦理由がある場合は、特記事項に記載すること。 (ワープロ可)
⑤	入学検定料	18,000円 入学検定料の納入方法は、共通事項「入学検定料」(40ページ)に記載。

(注) 事情によっては、本人が①, ②, ⑤を直接提出し、③, ④を出身学校長から提出してもよい。
被災などにより、③が得られない場合には、これに代わる書類を提出しても差し支えない。

8 出願手続

高等学校長が出願書類等を取りまとめ、出願期間内に、本学教務課へ提出すること。

- (1) 直接、持参して提出する場合は、受理の際、受験票を交付する。

- (2) 郵送の場合は、出願書類等を取りそろえ、この要項に折り込んである本学所定の封筒に入れ、封筒表面・裏面の必要事項を記入又はチェックの上、必ず書留速達郵便で発送すること。
また、受験票返送用として、氏名、住所、郵便番号を記入し、84円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）を同封すること。

9 選 考

- (1) 選 考 日 令和元年12月6日（金）
 (2) 選考は、次の項目について行い、各項目の結果を総合判定し、合格者を決定する。
 ① 書類選考 学校長の推薦書、調査書、志望理由書、資格・技能等の証明書
 ② 選考試験 小論文
 ③ 面 接 個人面接
 (3) 選考時間割

課程・学科・専攻		時間・選考方法	試験室入室時刻	9:50	—
			面接控室集合時刻	—	12:20
			試験時間	10:00～11:30	12:30～
第一部 (昼間課程)	文 学 科	日本語日本文学専攻	小 論 文	面 接	
		英語英文学専攻			
	生活科学科	食物栄養専攻			
		生活科学専攻			
	商経学科	経 済 専 攻			
		経 営 情 報 専 攻			

- 注 ① 英語英文学専攻においては、調査書の中で、実用英語技能検定準2級以上の取得を重視する。(ただし、受験の条件とはしない。)
 ② 試験場を確認する場合は、選考日前日の午後1時から午後4時の間に来学して試験場を確認すること。

10 合格通知及び発表

- (1) 選考結果の合否については、令和元年12月16日（月）午前10時に本学掲示板及びホームページに受験番号を掲示するとともに、郵送で高等学校長（受験者あても同封）に通知する。
 (2) 合格者は、入学確約書（用紙は合否通知に同封する）を令和元年12月26日（木）までに本学教務課に提出しなければならない。
 郵送の場合でも期日までに必着するように書留郵便で出すこと。期日までに提出しない場合は、合格を取り消すものとする。
 (注) 電話や電子メールによる合否の問い合わせには応じない。
 (3) 合格者で入学確約書を期日までに提出した者は、一般入試学力検査の合格発表日（令和2年3月5日（木））に、本学掲示板に受験番号を掲示する。

11 入 学 手 続

合格者は、令和2年3月11日（水）～13日（金）午前9時から午後4時までに入学手続きをしないと入学できない。

12 第二部商経学科特別推薦入試（第二次選考）

第一部商経学科の推薦入試に合格しなかった者で、出願時に第二部商経学科の特別推薦入試（第二次選考）にも出願した者に対して、特別推薦入試の募集人員に欠員が生じた場合に限り、第二次選考を実施する。（詳細は p.18 に記載）

13 不合格者の取り扱い

推薦入試に合格しなかった者で再度一般入試により本学への入学を希望する者は、あらためて一般入試個別学力検査を受けるための出願書類を提出しなければならない。

推 薦 書 (ワープロ可)

令和 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

(公 立)
学校法人

高等学校

学校長名 印

下記の者は、貴学において大学教育を受けるにふさわしい者と認めますので、貴学の推薦入試制度により入学を許可されるよう責任をもって推薦いたします。

記

- 1 志願者氏名 ふりがな (昭和・平成 年 月 日生)
- 2 志望学科・専攻 学科 専攻
- 3 高等学校の学科 科
- 4 特記事項

推薦入試志望理由書

(ワープロ可, 鉛筆不可)

高等学校

ふりがな
氏名

印

昭和・平成 年 月 日生

鹿児島県立短期大学長 殿

私は、下記理由のとおり推薦入試を志望いたします。

記

1 志望理由〔志望の動機・就学の目的・学業への期待や熱意等〕

2 取得した資格等

〔文化・芸術・技能面において顕著な成績や資格があれば記載し、それを証明できる書類
(写し, A4サイズとする。)も添付すること。〕

(注) 記載欄が不足する場合は、用紙を足してください。

IV 特別推薦入試

1 特別推薦入試制度の趣旨

今日、生涯学習に対する社会的要請が強くなっている。しかし、現実には社会人にとって、学力を問う一般入試の入試制度は極めて重荷である。また、県下唯一の夜間課程である本学第二部商経学科は社会人を中心とした多様な人材の教育を目的としており、学生にも学業に偏らない多彩な能力を求めている。

このようなことから、第二部商経学科においては、平成12年度から従来の社会人入試制度と高校生を対象にした推薦入試制度の趣旨を含みつつ、より広く門戸を広げた特別推薦入試制度を実施している。

さらに、平成30年度入試からは、特別推薦入試の募集人員に欠員が生じた場合に限り、第一部推薦入試の志願者を対象とした第二次選考を新設し、門戸を広げている。

これは、高校生、社会人を問わず、学習意欲と推薦事由のある者を幅広く受け入れる入試制度である。

学習意欲の旺盛な社会人・高校生の入学を期待する。

2 選考方法

小論文、書類選考（高等学校長、勤務先の知人、若しくは家族など本人を含む適切な人の推薦書・本人の志望理由書・履歴書等）、面接の結果並びに志願者の持つ技能・資格を資料として総合判定の上、一般入試学力検査を免除して合格者を決定する。

3 特別推薦入試を実施する学科・募集人員等

課 程	学 科	募 集 人 員	修 業 年 限	備 考
第 二 部 (夜間課程)	商 経 学 科	3 0 名	3 年	授業は18時から 21時10分まで

4 対 象 者

次のいずれにも該当する者

(1) 人物が優秀で、更に高度の学業を修得しようとする熱意と能力を有し、学業、仕事、社会的活動、スポーツ、家事等においてなんらかの推薦事由のある者

(2) 次のアからウのいずれかに該当する者

ア 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び令和2年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要がある。(43ページを参照)

高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、それを証明できることを要する。

(3) 合格した場合、入学することを確約できる者

5 出願期間

令和元年11月11日（月）～11月15日（金）（郵送の場合は11月15日（金）消印有効）

受付時間は午前9時から午後4時まで。

6 出願書類等

出願書類等		摘 要
①	入学志願票	共通事項「入学志願票等の記入上の注意」（40ページ）をよく読んで記入すること。
	写真票及び受験票	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真（縦4cm，横3cm）を写真票及び受験票の所定の欄に貼付すること。 なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用して撮影すること。
	宛名シール	郵便番号、住所及び氏名を記入すること。（合格通知や入学手続書類等の送付用）
②	推薦書	高等学校長、勤務先の知人、若しくは家族など本人を含む適切な人物による。 〈ワープロ可〉
③	履歴書	市販のものを使用し、高等学校以後の学歴、職歴等を記入すること。 ただし、高等学校長が推薦書に調査書を添付した場合は省略できる。 （注）調査書は、平成31年4月以降に発行され、厳封したものを提出すること。
④	志望理由書	〈ワープロ可〉
⑤	卒業証明書等	高等学校卒業証明書、又は卒業見込証明書（旧制高等専門学校1年修了の者、又は旧制中等学校卒業者はその事実を証明するもの。高等学校卒業程度認定試験合格者は合格成績証明書を、また同試験合格見込みの者は「合格見込成績証明書」をもって代えることができる。（合格証明書は不可）。廃校又は被災等によって得られない場合には、これに代わる書類を提出しても差し支えない。 ただし、高等学校長が推薦書に調査書を添付した場合は省略できる。
⑥	通学許諾書	有職者の場合には、勤務先からの入学後の通学許諾書 〈ワープロ可〉
⑦	入学検定料	18,000円 入学検定料の納入方法は、共通事項「入学検定料」（40ページ）に記載。

7 出願手続

志願者は、出願書類等を取りまとめ、出願期間内に、本学教務課へ提出すること。

- (1) 直接、持参して提出する場合は、受理の際、受験票を交付する。
- (2) 郵送の場合は、出願書類等を取りそろえ、この要項に折り込んである本学所定の封筒に入れ、封筒表面・裏面の必要事項を記入又はチェックの上、必ず書留速達郵便で発送すること。
また、受験票返送用として、氏名、住所、郵便番号を記入し、84円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）を同封すること。

8 選 考

- (1) 選考は、次の項目について行い、各項目の結果を総合判定し、合否を決定する。

種 別		内 容
ア	選 考 試 験	小論文
イ	面 接	個人面接
ウ	書 類 選 考	推薦書・志望理由書・履歴書・通学許諾書
エ	そ の 他	志願者の持つ技能及び資格

- (2) 選 考 日 令和元年12月6日（金）

- (3) 選考時間割

面接控室集合時刻	8:50	—
試験室入室時刻	—	12:50
試 験 時 間	9:00～12:00	13:00～14:30
科 目	面 接	小論文

(注) 試験場を確認する場合は、選考日前日の午後1時から午後4時までの間に来学して確認すること。

9 合格通知及び発表

- (1) 選考結果の合否については、**令和元年12月16日（月）**午前10時に本学掲示板及びホームページに受験番号を掲示するとともに、郵送で本人に通知する。
- (2) 合格者は、**入学確約書**（用紙は合否通知に同封する。）を**令和元年12月26日（木）**までに、本学教務課に提出しなければならない。
- 郵送の場合も期日までに必着するように**書留郵便**で出すこと。期日までに提出しない場合は、合格を取り消すものとする。
- (注) 電話や電子メールによる合否の問い合わせには応じない。**
- (3) 合格者で入学確約書を期日までに提出した者は、一般入試学力検査の合格発表日〔令和2年3月5日（木）〕に、本学掲示板に受験番号を掲示する。

10 入学手続

合格者は、令和2年3月11日（水）～13日（金）午前9時から午後4時までに入学手続をしないと入学できない。

11 特別推薦入試（第二次選考）

（1）実施の条件

第二次選考は、特別推薦入試の募集人員に欠員が生じた場合に限り実施する。

（2）対象者

第一部商経学科（経済専攻，経営情報専攻）の推薦入試を受験した者のうち，出願時に特別推薦入試（第二次選考）にも出願した者*で，推薦入試に合格しなかった者。

* 推薦入試の出願資格を満たす対象者で，出願時に志願票の「入試区分」欄において「第一部（昼間課程）」の「2 推薦入試」を選択し，かつ「志望学科・専攻」欄において「5 経済」または「6 経営情報」に加えて，「7 第二部商経学科」も選択した者。

（3）選考方法・合格者数

第一部推薦入試における小論文および面接（推薦書・志望理由書等を含む）の結果を，推薦入試で出願した専攻区分に関係なく総合判定し，特別推薦入試の募集人員の欠員分を考慮して合格者を決定する。

（4）合格通知および発表，入学手続き

第二次選考の合格者については特別推薦入試合格者として扱う。

12 不合格者の取り扱い

特別推薦入試に合格しなかった者で，本学への入学を希望する者は，学生募集要項に従い，あらためて手続きをすることなく一般入試個別学力検査（第二部商経学科）を受験することができる。

なお，有職者特別入試で入学を希望する者は，あらためて出願書類を提出しなければならない。

特別推薦入試推薦書

令和 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

推薦者 住所
(職場名)

氏名 印

被推薦者との関係(高等学校長・職場の上司・同僚・知人)
(家族・本人)

下記の者は、推薦理由のとおり、貴学において大学教育を受けるにふさわしい者と認めますので、貴学の特別推薦入試制度により入学を許可されるよう責任をもって推薦いたします。

記

1 被推薦者 ^{ふり がな} 氏名

住所
(又は職場名)

2 推薦理由

- (注) ① 記入には必ず黒インク又は黒ボールペン(ワープロ可)を使用してください。
② 推薦理由については、学業に限らず、仕事・社会的活動・スポーツ・家事などでもかまいません。
なお、この項目では推薦理由となる事項を概評的な表現でなく、なるべく具体的かつ詳細に記入してください。
③ 推薦理由に関わるものが、一般的に知られていないと思われる場合には、参考となる資料を添付してください。
④ 記載欄が不足する場合は、用紙を足してください。

特別推薦入試志望理由書

高等学校
又は
勤務先

ふりがな
氏名

印

昭和・平成 年 月 日生

鹿児島県立短期大学長 殿

私は、下記理由のとおり特別推薦入試を志望いたします。

記

- 志望理由〔志望の動機・就学の目的・学業への期待や熱意等〕

(特別推薦入試志願者で有職者の場合)

通 学 許 諾 書

下記の者が貴学に入学した場合は、通学することを許可します。

入 学 者 住 所 _____
ふり がな
氏 名 _____ 印

勤 務 先 名 称 _____
所在地 _____

責任者
職 名 _____

ふり がな
氏 名 _____ 印

令和 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

V 社会人入試

1 社会人入試制度の趣旨

今日、成人教育や生涯教育に対する社会的要請が強くなっている。しかし、現実には、高校卒業後相当の年数を経過している社会人にとって、あらためて大学教育の修学を意図しても、現在の入試制度は極めて重荷である。

このような現状に対応して、本学商経科（旧）では、県下唯一の夜間課程を有する短期大学として昭和59年度以来、社会人入試制度を採用している。さらに、平成元年度からは昼間の第一部商経科にも同制度を導入した。これは、一般入試とは別の選考方法によって社会人に大学の門戸を開き高等教育の機会を与えるものである。学習意欲の旺盛な社会人の入学を期待する。

2 選考方法

小論文、書類選考（知人、若しくは家族など本人を含む適切な人の推薦書・本人の志望理由書・履歴書）、面接の結果並びに志願者の持つ技能及び資格を資料として総合判定の上、一般入試学力検査を免除して合格者を決定する。

3 社会人入試を実施する学科・募集人員等

課 程	学 科	専 攻 名	募集人員	修業年限
第 一 部 (昼間課程)	商 経 学 科	経 済 専 攻	若干名	2 年
		経 営 情 報 専 攻	若干名	

4 対 象 者

次のいずれにも該当する者

(1) 人物が優秀で、更に高度の学業を修得しようとする熱意と能力を有し、学業、仕事、社会的活動、スポーツ、家事等においてなんらかの推薦事由のある者

(2) アからウのいずれかに該当する者

ア 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び令和2年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要がある(43ページを参照)。

高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、それを証明できることを要する。

(3) 令和2年4月1日現在で年齢22歳以上である者

(4) 合格した場合、入学することを確約できる者

5 出願期間

令和元年11月11日（月）～11月15日（金）（郵送の場合は11月15日（金）消印有効）

受付時間は午前9時から午後4時まで。

6 出願書類等

出願書類等		摘 要
①	入学志願票	共通事項「入学志願票等の記入上の注意」（40ページ）をよく読んで記入すること。
	写真票及び受験票	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真（縦4cm，横3cm）を写真票及び受験票の所定の欄に貼付すること。 なお，受験時に眼鏡を着用する者は，眼鏡を着用して撮影すること。
	宛名シール	郵便番号，住所及び氏名を記入すること。（合格通知や入学手続書類等の送付用）
②	推薦書	勤務先の知人，若しくは家族など本人を含む適切な人物による。 〈ワープロ可〉
③	履歴書	市販のものを使用し，高等学校以後の学歴，職歴等を詳細に記入すること。
④	志望理由書	〈ワープロ可〉
⑤	卒業証明書等	高等学校卒業証明書，又は卒業見込証明書（旧制高等専門学校1年修了の者，又は旧制中等学校卒業者はその事実を証明するもの。高等学校卒業程度認定試験合格者は合格成績証明書を，また同試験合格見込みの者は，「合格見込成績証明書」をもって代えることができる。（合格証明書は不可））。廃校又は被災等によって得られない場合には，これに代わる書類を提出しても差し支えない。
⑥	入学検定料	18,000円 入学検定料の納入方法は，共通事項「入学検定料」（40ページ）に記載。

7 出願手続

志願者は，出願書類等を取りまとめ，出願期間内に，本学教務課へ提出すること。

- (1) 直接，持参して提出する場合は，受理の際，受験票を交付する。
- (2) 郵送の場合は，出願書類等を取りそろえ，この要項に折り込んである本学所定の封筒に入れ，封筒表面・裏面の必要事項を記入又はチェックの上，必ず書留速達郵便で発送すること。
また，受験票返送用として，氏名，住所，郵便番号を記入し，84円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）を同封すること。

8 選 考

(1) 選考は、次の項目について行い、各項目の結果を総合判定し、合否を決定する。

種 別		内 容
ア	選 考 試 験	小論文
イ	面 接	個人面接
ウ	書 類 選 考	推薦書・志望理由書・履歴書
エ	そ の 他	志願者の持つ技能及び資格

(2) 選考日 令和元年12月6日（金）

(3) 選考時間割

試験室入室時刻	9:50	—
面接控室集合時刻	—	12:20
試 験 時 間	10:00～11:30	12:30～
科 目	小論文	面 接

(注) 試験場を確認する場合は、選考日前日の午後1時から午後4時までの間に来学して確認すること。

9 合格通知及び発表

(1) 選考結果の合否については、令和元年12月16日（月）午前10時に本学掲示板及びホームページに受験番号を掲示するとともに、郵送で本人に通知する。

(2) 合格者は、**入学確約書**（用紙は合否通知に同封する。）を令和元年12月26日（木）までに、本学教務課に提出しなければならない。

郵送の場合も期日までに必着するように**書留郵便**で出すこと。期日までに提出しない場合は、合格を取り消すものとする。

（注）電話や電子メールによる合否の問い合わせには応じない。

(3) 合格者で入学確約書を期日までに提出した者は、一般入試学力検査の合格発表日〔令和2年3月5日（木）〕に、本学掲示板に受験番号を掲示する。

10 入学手続

合格者は、令和2年3月11日（水）～13日（金）午前9時から午後4時までに入学手続をしないと入学できない。

11 不合格者の取り扱い

社会人入試に合格しなかった者で、再度一般入試により本学への入学を希望する者は、あらためて一般入試個別学力検査を受けるための出願書類を提出しなければならない。

社会人入試推薦書

令和 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

推薦者 住所
(職場名)

ふり がな
氏 名

印

被推薦者との関係 [職場の上司・同僚・知人・家族・本人]

下記の者は、推薦理由のとおり、貴学において大学教育を受けるにふさわしい者と認めますので、貴学の社会人入試制度により入学を許可されるよう責任をもって推薦いたします。

記

1 被推薦者 ふり がな
氏 名

住所
(又は職場名)

2 推薦理由

- (注) ① 記入には、必ず黒インク又は黒ボールペン（ワープロ可）を使用してください。
② 推薦理由については、職場での勤務状況、社会的活動、人物・性格・生活態度、進学理由、学業への熱意などについて、具体的かつ詳細に記入してください。
③ 記載欄が不足する場合は、用紙を足してください。

社会人入試志望理由書

職 業
(勤務先)

ふり がな

氏 名

印

昭和・平成 年 月 日生

鹿児島県立短期大学長 殿

私は、下記理由のとおり社会人入試を志望いたします。

記

○ 志望理由〔志望の動機・就学の目的・学業への期待や熱意等〕

VI 有職者特別入試

1 有職者特別入試制度の趣旨

今日、地域経済活性化における人材育成の重要性に対して、関心が高まっている。また、県下唯一の夜間課程である本学第二部商経学科は有職者の教育を重要な目的の一つとしている。

しかし、有職者にとっては一般入試等の入試制度は重荷であることに加え、次年度の勤務環境の見通しがつかなければ、就学を決断することは難しい。また、働きながら学びたいと考える就職志望者も内定が得られるまでは就学を決断しづらいと考えられるが、その時期が遅いことがしばしばある。

このようなことから、第二部商経学科においては、平成21年度から、有職者特別入試制度を実施することとした。これは、有職者、就職内定者、過去に職に就いた経験がある者に門戸を開き、高等教育の機会を与えるものである。学習意欲の旺盛な社会人・就職内定者の入学を期待する。

2 選考方法

書類選考（志望理由書・履歴書）、面接の結果を資料として総合判定の上、一般入試学力検査を免除して合格者を決定する。

3 有職者特別入試を実施する学科・募集人員等

課 程	学 科	募集人員	修業年限	備 考
第 二 部 (夜間課程)	商 経 学 科	若干名	3 年	授業は18時から 21時10分まで

4 対 象 者

次の(1)から(3)のいずれにも該当する者

(1) アからウのいずれかに該当する者

ア 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和2年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要がある。(43ページを参照)

(2) アからウのいずれかに該当する者

ア 出願時有職の者

イ 就職内定者

ウ 過去に合計して3年以上、職に就いた経験のある者

(3) 合格した場合、入学することを確約できる者

(注) ① 高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、それを証明できることを要する。

② 有職、就職内定者、職に就いた経験については、臨時的雇用は含まない。

5 出願期間

令和2年2月17日（月）～2月21日（金）（郵送の場合は、2月21日（金）消印有効）

受付時間は、午前9時から午後4時まで。

6 出願書類等

出願書類等		摘 要
①	入学志願票	共通事項「入学志願票等の記入上の注意」（40ページ）をよく読んで記入すること。
	写真票及び受験票	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真（縦4cm，横3cm）を写真票及び受験票の所定の欄に貼付すること。なお，受験時に眼鏡を着用する者は，眼鏡を着用して撮影すること。
	宛名シール	郵便番号，住所及び氏名を記入すること。（合格通知や入学手続書類等の送付用）
②	履 歴 書	市販のものを使用し，高等学校以後の学歴，職歴等を記入すること。また，4の(2)のウに該当するものは，それぞれの勤務先での在職期間がわかるように記入すること。
③	志 望 理 由 書	〈ワープロ可〉
④	卒 業 証 明 書 等	高等学校卒業証明書，又は卒業見込証明書（旧制高等専門学校1年修了の者，又は旧制中等学校卒業者はその事実を証明するもの。高等学校卒業程度認定試験合格者は合格成績証明書を，また同試験合格見込みの者は「合格見込成績証明書」をもって代えることができる。（合格証明書は不可））。廃校又は被災等によって得られない場合には，これに代わる書類を提出しても差し支えない。
⑤	有職者であること あるいは就職の内 定を得ていること を証明するもの	4の(2)のアに該当するものは有職者であることを，(2)のイに該当するものは就職の内定を得ていることを証明するものを1通（在職証明書〈様式自由〉，就職内定証明書〈様式自由〉，保険証の写し，内定通知書の写しなど）提出すること。
⑥	入 学 検 定 料	18,000円 入学検定料の納入方法は，共通事項「入学検定料」（40ページ）に記載。

7 出願手続

志願者は、出願書類等を取りまとめ、出願期間内に、本学教務課へ提出すること。

- (1) 直接、持参して提出する場合は、受理の際、受験票を交付する。
- (2) 郵送の場合は、出願書類等を取りそろえ、この要項に折り込んである本学所定の封筒に入れ、封筒表面・裏面の必要事項を記入又はチェックの上、必ず書留速達郵便で発送すること。
また、受験票返送用として、氏名、住所、郵便番号を記入し、84円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）を同封すること。

8 選考

- (1) 選考は、次の項目について行い、各項目の結果を総合判定し、合否を決定する。

種 別		内 容
ア	面 接	個人面接
イ	書 類 選 考	志望理由書・履歴書

- (2) 選考日 令和2年3月3日（火）
- (3) 選考時間割 [面接] 15時から17時まで

9 合格通知及び発表

選考結果の合否については、令和2年3月9日（月）午後2時に本学掲示板及びホームページに受験番号を掲示するとともに、郵送で本人に通知する。

（注）電話や電子メールによる合否の問い合わせには応じない。

10 入学手続

合格者は、令和2年3月12日（木）～16日（月）午前9時から午後4時まで（土、日を除く）に入学手続をしないと入学できない。

11 追加合格

入学手続き締切り後に、入学辞退等により欠員が生じた場合、追加して合格者を発表する。

有職者特別入試志望理由書

勤務先
又 は
就職内定先

ふりがな
氏 名 印
昭和・平成 年 月 日生

鹿児島県立短期大学長 殿

私は、下記理由のとおり有職者特別入試を志望いたします。

記

- 志望理由〔志望の動機・就学の目的・学業への期待や熱意等〕

VII 私費外国人留学生入試

1 選考を実施する学科・専攻

課 程	学 科	専 攻	修業年限	備 考
第 一 部 (昼間課程)	文 学 科	日本語日本文学	2 年	募集人員は全体として 若干名である。
		英語英文学		
	生活科学科	食 物 栄 養		
		生 活 科 学		
	商経学科	経 済		
		経 営 情 報		

2 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次の(1)～(10)のいずれかに該当し、公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験(JLPT)」N2レベル相当以上の能力を有すること。ただし、日本語日本文学専攻に出願する者については、N1レベル相当以上の能力を有すること。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程（文部科学大臣指定準備教育課程一覧）又は研修施設（文部科学大臣指定研修施設一覧）の課程を修了する必要がある。）
- (2) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程（文部科学大臣指定準備教育課程一覧）又は研修施設（文部科学大臣指定研修施設一覧）の課程を修了する必要がある。）
- (3) 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程（文部科学大臣指定高等学校に対応する外国の学校の課程一覧）を修了した者
- (4) 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校（我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧）を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程（文部科学大臣指定準備教育課程一覧）を修了する必要がある。）
- (5) 高等学校と同等と認定された在外教育施設（文部科学大臣認定等在外教育施設（高等部を設置するもの）一覧）の課程を修了した者
- (6) 指定された専修学校の高等課程（文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧）を修了した者
- (7) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者
- (8) 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）の認定を受けた教育施設（国際的な評価団体認定外国人学校について）の12年の課程を修了した者
- (9) 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者（なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。）
- (10) 本学において個別の入学資格審査により認められた18歳以上の者

3 入学者選考方法

(1) 選考内容

学 科	専 攻	英 語	小論文 (日本語)	面 接	備 考
文 学 科	日本語日本文学		○	○	小論文は古典に関するものを出題する。
	英語英文学	○	○	○	
生活科学科	食 物 栄 養		○	○	
	生 活 科 学		○	○	
商経学科	経 済		○	○	
	経 営 情 報		○	○	

(2) 選考会場

鹿児島市下伊敷一丁目 52 番 1 号 鹿児島県立短期大学

(玉江小学校前バス停又は下伊敷バス停下車徒歩 5 分) [両バス停の中間に所在]

(3) 選考日時

期 日	選考内容	時 間
2019年12月17日(火)	英 語	9:00 ~ 10:00
	小 論 文	10:20 ~ 11:50
	面 接	13:00 ~

- (注意) ア 当日は、受験票・筆記用具を持参すること。
 イ 選考開始後 30 分以上遅刻したときは、受験を認めない。
 ウ 1 つでも受験しなかった者は失格とする。

4 出願手続

(1) 出願期間

2019 年 11 月 11 日 (月) ~ 11 月 15 日 (金)

受付時間は午前 9 時~午後 4 時

受付は、郵送または持参とする。なお、郵送の場合は 2019 年 11 月 15 日 (金) 消印有効。

(2) 出願書類等

ア 鹿児島県立短期大学2020年度私費外国人留学生入学願書

イ 写真票及び受験票

出願前 3 か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真 (縦 4 cm, 横 3 cm) を所定の欄に貼付すること。

ウ 履歴書 (用紙は市販のもので可)

学歴は初等教育 (小学校) 入学から在籍した学校の全てを記入すること。

「飛び級」や「繰上卒業」等の事実があれば特記すること。

エ 最終学校の学業成績証明書 (コピーでなく最終学校の発行した正本)

国際バカロレア資格, アビトゥア資格及びバカロレア資格 (フランス共和国) を有する者は, 資格証書 (コピーで可) 及び成績証明書

- オ 外務省在外公館・本邦所在の外国公館等の発行する身分証明書
外国人在留カード又は旅券（パスポート）（コピーで可）
- カ 外務省在外公館・本邦所在の外国公館等の発行する推薦書又は紹介状等、公的団体若しくは出身学校等の発行する推薦書又は紹介状等で可
- キ 志望理由書
本学入学を志望する理由・動機・将来の抱負等を 400 字詰め原稿用紙 3 枚程度にまとめたものを日本語で表記すること。
- ク 「日本語能力試験」N2 レベル相当以上の能力を有することを証明する書類
出願時点で提出が不可能であれば、選考日に持参すること。
- ケ 身元保証書
身元保証人が必要事項を記載したもの
身元保証人は日本在住の者（外国人を含む。）であること。
- コ 入学検定料 18,000円
鹿児島県の収入証紙によること。郵便局発行の普通為替証書でも可
外国からの送金による場合は別途為替手数料等を負担すること。

(3) 出願にあたっての注意

- ア 出願した学科・専攻の変更は認めない。
- イ 書類は全て黒のペン又はボールペンで、文字は楷書、数字は算用数字を用いて明確に記入すること。
- ウ 外国語の書類は日本語訳を添付すること。
- エ 出願書類に記入もれ、その他の不備がある場合には受理しないことがある。また、書類受理後の記載内容の変更は認めない。
- オ 出願書類に虚偽の記入があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- カ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しない。

(4) 出願書類の提出先等

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号

鹿児島県立短期大学学生部教務課 電話 099-220-1112（内線）136番

郵送の場合は書留速達郵便のこと。なお、受験票送付用として、宛先・郵便番号を明記した返信用定形封筒（長形3号（12.0 cm×23.5 cm）、84円切手貼付）を同封すること。

国外からの志願者は航空郵便書状（書留・速達）20 g相当料金の国際返信切手券を同封すること。

5 合格通知

選考結果の可否については、2020年1月14日（火）に郵便で本人あて通知する。

6 入学手続き

- (1) 合格通知を受けた者の入学手続きに必要なものは次のとおりである。

- ア 宣誓書（本学所定の用紙使用）
- イ 在学保証書（ ）
- ウ 出身学校卒業証明書又は修了証明書
- エ 写真
最近3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真4枚（縦4 cm，横3 cm）
写真の裏面に学科・専攻・氏名及び生年月日を明記すること。
- オ 外国人登録済証明書
- カ 入学料 169,200円（既納の入学料は理由のいかんにかかわらず返却しない。）

- (2) 入学手続期間

合格者は、2020年3月11日（水）～3月13日（金）午前9時から午後4時までに入
学手続をしないと入学できない。

なお、合格者のうち事情により入学を辞退する者は、2020年3月9日までに郵便で本
学あて、その旨を届け出ること。

※受験番号	番
-------	---

収入証紙貼付欄

鹿児島県立短期大学

2020年度私費外国人留学生入学願書

志願課程・学科・専攻	学科		専攻	
フリガナ				
氏名	姓 (family name)	名 (first name)		
生年月日	年	月	日生	性別 〔男・女〕
国籍				
現住所 (受信場所)	郵便番号 (-)			
	電話番号 (- -)			
※備考 () -				

注1 ※印の欄は記入しないこと。

注2 () 内はいずれかを○で囲むこと。

身元保証書

年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

国籍

居住地

氏名

性別： 男 ・ 女

生年月日

年 月 日

私は、上記の者が貴大学に入学した場合、次の事項について保証します。

- 1 本人が入国目的以外の活動をせず、その他日本国法令を遵守するよう私が監督すること。
- 2 本人が学費、生活費、その他必要な費用について支払いできない時は私が負担すること。
- 3 本人が日本国法令上関係するいかなる場合においても私が身元を引き受けること。

身元保証人

国籍（在留資格）

氏名

印

住所（電話番号）

職業（勤務先、地位）

本人との関係

鹿児島県立短期大学

受験票 (令和2年度)
(私費外国人入試)

受験番号	※
志望学科 ・ 専攻	1 日本語日本文学 2 英語英文学 3 食物栄養 4 生活科学 5 経済 () 6 経営情報 ()
氏名	

鹿児島県立短期大学

(令和2年度 私費外国人入試)

入学志願者写真票

受験番号	※
ふりがな	
氏名	
性別	(男 ・ 女)
生年月日	年 月 日 (歳)

写真貼付

上半身正面向き脱帽

出願前3か月以内に
撮影したカラー写真

4 cm × 3 cm

入学検定料
納入確認印

(注意) 1 太線の枠内のみ記入すること。
()内はいずれかを○で囲むこと。
2 本受験票は受験当日必ず携行し、受験の際
は机上に置くこと。

写真貼付

上半身正面向き脱帽

出願前3か月以内に
撮影したカラー写真

4 cm × 3 cm

VIII 転学・再入学選考

1 転学・再入学選考を実施する場合

(1) 転学の選考は、志望する学科・専攻に欠員がある場合に行う。ただし、特段の事情を認めた場合には選考を行う。

(2) 再入学の選考は、志望する学科・専攻の教育設備に余裕がある場合に限り行う。

※ 入学希望者は、選考の有無について出願開始日の1週間前までに本学に確認すること。

2 出願資格

(1) 転学 他の短期大学（日本国内）に在学中の者

(2) 再入学 本学を卒業した者（令和2年3月31日までに卒業見込みの者を含む。）又は本学を退学した後、令和2年3月31日現在で2年以内の者

3 選考方法

転学の選考は、所定の出願書類に基づく書類選考、小論文及び面接により行う。

再入学の選考は、所定の出願書類に基づく書類選考及び面接により行う。

(1) 選考日時

期 日	選考内容	時 間
令和2年2月20日(木)	小 論 文	9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0
	面 接	1 1 : 3 0 ~

(2) 選考会場

鹿児島市下伊敷一丁目52番1号 鹿児島県立短期大学

4 出願手続

(1) 出願期間

令和2年2月12日(水)～2月18日(火)

受付時間は午前9時～午後4時

受付は、郵送または持参とする。なお、郵送の場合も令和2年2月18日午後4時までに必着のこと。

(2) 出願書類等

ア 鹿児島県立短期大学入学願書（令和2年度転学・再入学）

イ 写真票及び受験票

上半身脱帽正面向きのカラー写真で出願前3か月以内に撮影したもの（縦4cm、横3cm）を貼付のこと。

ウ 履歴書（用紙は市販のもので可）

エ 最終学校の学業成績証明書

オ 最終学校の卒業証明書（若しくは卒業見込証明書）

（転学の場合は在学証明書）

カ 入学検定料 第一部 18,000円 第二部 18,000円

鹿児島県の収入証紙によること。郵便局発行の普通為替証書でも可

(3) 出願にあたっての注意

- ア 出願した学科・専攻の変更は認めない。
- イ 書類は全て黒のペン又はボールペンで、文字は楷書、数字は算用数字を用いて明確に記入すること。
- ウ 出願書類に記入もれ、その他の不備がある場合には受理しないことがある。また、書類受理後の記載内容の変更は認めない。
- エ 出願書類に虚偽の記入があった場合は、入学後であっても入学を取消すことがある。
- オ 受理した出願書類及び検定料はいかなる理由があっても返還しない。

(4) 出願書類の提出先

〒 890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目 52 番 1 号 鹿児島県立短期大学学生部教務課
郵送の場合は書留速達郵便のこと。なお、受験票送付用として、宛先・郵便番号を明記した返信用定形封筒（長形 3 号 12.0 cm× 23.5 cm ）〈84円切手貼付〉を同封すること。

5 合格通知

合格者は令和 2 年 3 月 5 日（木）に郵便で本人あて通知する。

6 入学手続き

(1) 合格通知を受けた者の入学手続きに必要なものは次のとおりである。

- ア 在学保証書（本学所定の用紙使用）
- イ 写 真
最近 3 か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真 5 枚（縦 4 cm×横 3 cm）
写真の裏面に学科，専攻，氏名及び生年月日を明記すること。
- ウ 住民票 1 通
- エ 入学料 第一部 169,200 円 第二部 71,800 円

(2) 入学手続期間

合格者は、令和 2 年 3 月 11 日（水）～13 日（金）午前 9 時から午後 4 時までに入学手続をしないと入学できない。

※受験番号	番
-------	---

収入証紙貼付欄

鹿児島県立短期大学

令和2年度 転学・再入学願書

区 分	{ 1 転学 2 再入学 }	
志願課程・学科・専攻	第 部	学科 専攻
ふりがな		性 別
氏 名	氏 名	(男・女)
生 年 月 日	平成・昭和 年 月 日生	
現 住 所	〒 —	
電 話 連 絡 先	() —	
※ 備考		

注1 ※印の欄は記入しないこと。

注2 () 内はいずれかを○で囲むこと。

キ
リ
ト
リ
線

IX 共 通 事 項

1 入学志願票等の記入上の注意

- (1) 黒のボールペンを使用し、文字はかい書で、数字は算用数字を用いて、明確に記入すること。
- (2) 各票間のミシン目は切り離さないこと。
- (3) 太線の枠内のみ記入すること。
- (4) 各票片とも、()内は該当する文字を○で囲むこと。
- (5) 第一部一般入試を選択した場合、入学志願票の所定欄に令和2年度大学入試センター試験成績請求票（私立大学・公私立短期大学用）を必ず貼付すること。
- (6) 「入試区分」は、該当する区分を○で囲むこと。
- (7) 「ふりがな」は、ひらがなで記入すること。
- (8) 「氏名」・「生年月日」は、住民票に記載されているとおり記入すること。
なお、写真票には、令和2年4月1日現在の年齢を記入すること。
- (9) 電話番号は昼間の連絡先を記入すること。携帯電話を持っている場合も必ず記入のこと。
入学志願票にある「合格通知等送付先」欄（1カ所）及び宛名シールにある「宛名」（1カ所）は、発送する合格通知書が確実に届く送付先を記入すること（入学志願手続後、住所が変わる予定の者は、郵便物が確実に届く保護者等の住所を記入すること。）。
- (10) 「入学資格」は、該当する欄に記入すること。
- (11) 受験票及び入学志願票にある「志望学科・専攻」は、該当する学科又は専攻を○で囲むこと。
なお、一般入試において経済専攻と経営情報専攻との併願希望者は両方を○で囲んだ上、()に志望順位の1, 2を明記すること。
- (12) 推薦入試において第一部商経学科の経済専攻または経営情報専攻を志望する者で、第二部特別推薦入試（第二次選考）への出願も希望する者は、「7 第二部商経学科」も○で囲むこと。
- (13) 特別推薦入試志願者は、合格しなかった場合に再度一般入試（第二部商経学科）を受験するかどうかについて、受験票、及び入学志願票の該当事項を○で囲むこと。
- (14) 収入証紙は、必ず入学志願票の貼付欄に貼付すること（収入印紙は不可）。証紙が貼付されていない場合は志願票は受理しない。ただし、県外居住者等は郵便局発行の普通為替証書の同封により代えることができる。

2 入学検定料

- (1) 第一部受験者 18,000円（一般・推薦・社会人入試、私費外国人留学生入試、転学・再入学）
- (2) 第二部受験者 18,000円（一般入試、特別推薦入試、転学・再入学）
- (3) 第二部受験者 18,000円（有職者特別入試、転学・再入学）

入学検定料の納入方法は次のとおり。

鹿児島県収入証紙により納入する（収入印紙は不可）。最寄りの鹿児島県収入証紙販売所で当該金額の証紙を購入し、入学志願票の所定の欄に貼付する。（収入証紙販売所については、①54～55ページの証紙販売所一覧を参照のこと。②販売人の中には、希望する証紙を取り扱っていない場合があるので、事前に電話等で確認の上、購入すること。）

ただし、県外居住者及び証紙販売所が遠隔の地にある志願者で、郵便により入学志願票を提出する者にとっては、郵便局が発行する普通為替証書を同封して（志願票に貼付しないこと。）提出することができる。普通為替証書には記入・押印等しないこと。

（注）既に納めた入学検定料は、返還しない。

3 志願票送付先

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号 鹿児島県立短期大学 学生部 教務課

4 試験会場

鹿児島県立短期大学 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号
〔玉江小前バス停，又は，下伊敷バス停下車（両バス停の中間に所在）徒歩5分〕

5 受験上の注意

- (1) 一般入試の受験者（第二部商経学科を除く。）は、本学の受験票のほかに、大学入試センター試験受験票を持参すること。なお、受験票を紛失又は忘れた者は、本部（教務課）に申し出ること。また、センター試験の受験票を持参しなかった者は、監督者から別途指示を受けること。
- (2) 筆記試験の受験者は、
 - ① 受験者入室開始の時刻になってから各試験室に入ること。
 - ② 荷物は持って入室すること。（携帯電話等の電子機器類は、電源を切っておくこと。）
なお、コート・ジャンパー等防寒着は着用してよい。
 - ③ 「始め」の合図で試験を開始する。
 - ④ 「止め」の合図で試験を終了し、監督者が解答用紙を回収し終わるまで着席して待つ。その後、監督者の指示により静かに退室すること。
 - ⑤ 試験終了時刻まで中途退室はできない。ただし、やむを得ない理由で退室を希望する者は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
 - ⑥ 試験時間中、机の上に受験票を示しておくこと。
 - ⑦ 解答用紙には、受験番号と解答のみを記入すること。
 - ⑧ 原則として下敷の使用は許可しない。ただし、その必要があるときは、監督者の許可を得て使用すること。
 - ⑨ 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの。）、眼鏡である。これ以外の所持品は、自分の席の椅子の下に置くこと。
 - ⑩ 解答の下書き等は、問題冊子の余白を利用すること。
 - ⑪ 問題の内容に対する説明は一切しない。印刷に不明な箇所があるときは、手を挙げて監督者に申し出ること。
- (3) 面接試験の受験者は、
 - ① 所定の時刻までに決められた面接控え室に集合すること。
 - ② 受験票を監督者の要請に応じて提示すること。
 - ③ 監督者の指示に従い、面接控え室から面接室に移動すること。
 - ④ 面接控え室を出る時は荷物を持ち、面接室前の机に置いてから面接室に入室すること。
 - ⑤ 面接終了後は、監督者の指示に従って帰宅すること。
- (4) 遅刻者は、試験開始後30分までは入室を許可する。
生活科学専攻の一般入試（面接）においては、指定された面接時間帯における試験開始後30分までは面接控え室への入室を許可する。
- (5) 不正行為を行った場合は、監督者が直ちに退室を命じ、本年度の受験資格を取り消す。
- (6) 試験時間中の用便は、原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
- (7) 当日、身体の具合が悪い受験者は、教務課（又は監督者）に申し出ること。また、試験時間中に具合が悪くなった受験者は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
- (8) 受験票は、入学手続き及び成績開示請求時に必要となるので保管しておくこと。

9 入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要があるため次の実施要領を参照の上、「入学資格認定書交付申請」の手続きを行うこと。

鹿兒島県立短期大学入学資格審査実施要領

学校教育法施行規則第150条第7号の規定に基づき、鹿兒島県立短期大学の入学資格審査（以下「審査」という。）を次により実施する。

- (1) 審査体制
審査は、個人からの申請に基づき入試委員会で行う。
- (2) 審査方法
審査方法は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められるかどうかについて、次により審査する。
 - ① 専修学校や各種学校等（以下「教育施設」という。）における学習歴や大学の科目等履修生としての単位の取得等の個人の学習歴について、履修科目、取得単位数、成績、総授業単位時間及び当該教育施設のカリキュラムを明らかにした書類等に基づいて、高等学校学習指導要領に準拠した内容であるかなどを審査する。
なお、当該教育施設を修了見込みの者については、現に履修している教科・科目及び取得見込みの単位数等を含めて審査する。
 - ② 社会における実務経験や取得した資格について、その経験や資格が高等学校を卒業した者と同等以上の学力であると客観的に認められる書類により審査する。
- (3) 申請期間

選抜区分	区 分	申 請 期 間
一般入試	本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者	令和元年9月6日必着
	他大学において入学資格の認定を受け、令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験に出願し受理された者	令和2年1月10日必着
特別推薦入試，社会人入試		令和元年10月18日必着
私費外国人留学生入試		令和元年10月18日必着
有職者特別入試		令和2年1月31日必着

※ 申請書類は、持参又は書留速達郵便により送付すること。

- (4) 申請書類
申請書類は次のとおりとし、申請内容に応じて必要な書類を送付すること。
 - ① 鹿兒島県立短期大学入学資格認定書交付申請書（別添様式）
 - ② 教育施設の成績証明書又は高等学校の調査書に準ずる書類
 - ③ 教育施設で現に履修している教科・科目及び取得見込単位証明書（修了見込み）
 - ④ 大学における科目履修単位取得証明書（該当者のみ）
 - ⑤ 教育施設の修了証明書又は修了見込証明書
 - ⑥ 教育施設の規則等（卒業要件の明記されているもの）
 - ⑦ 教育施設のカリキュラム（修業年限、授業教科・科目、単位数、総授業単位時間数等）を明示した書類
 - ⑧ 入学年度4月1日現在で18歳に達していることを証明する書類（成績証明書に生年月日の記載のある場合は不要）
 - ⑨ 社会における実務経験や取得資格が高等学校を卒業した者と同等以上の学力であると認められる客観的な証明書等（(2)の②による審査に必要）
 - ⑩ 返信用封筒（長形3号、750円切手貼付（簡易書留速達）、申請者の宛名を記入したもの）
- (5) 申請書の送付先・問い合わせ先
〒890-0005 鹿兒島市下伊敷一丁目52番1号
鹿兒島県立短期大学学生部教務課 TEL099-220-1112（内線136番）
- (6) 審査結果の通知及び認定書の交付
申請者には審査結果を速やかに通知するものとし、入学資格を認めた者には入学資格認定書を交付する。
入学選抜試験の出願時に、この入学資格認定書の写しを添付すること。

入学資格認定書交付申請書

令和 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

申 請 者

ふり がな

氏 名

印

生年月日 年 月 日 (歳) 性別 ()

現 住 所

電話番号

令和2年度鹿児島県立短期大学入学者選抜試験に出願したいので、鹿児島県立短期大学入学資格審査実施要領に基づき、入学資格審査について必要書類を添えて申請します。

キ
リ
ト
リ
線

10 身体に障害等を有する入学志願者の事前相談

身体に障害等（下表参照）がある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合があるので、あらかじめ本学に相談すること。なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用しての受験を希望する場合も事前相談を必要とする。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも
肢 体 不 自 由 者	① 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも ② 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも
病 弱 者 (身体虚弱者を含む。)	① 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも ② 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも

※ 学校教育法施行令第22条の3に準拠した。

(1) 相談の時期

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、措置が講じられないこともあるので、なるべく以下の時期までに相談すること。

- | | |
|-----------------|---------------|
| ① 一般入試 | 令和2年1月10日（金） |
| ② 推薦・特別推薦・社会人入試 | 令和元年10月18日（金） |
| ③ 私費外国人留学生入試 | 令和元年10月25日（金） |
| ④ 有職者特別入試 | 令和2年2月14日（金） |

(2) 相談の方法

電話又は本学での相談いずれでもかまわないが、下記事項等を記載した書類（様式任意）を提出してもらおう場合もある。

- ① 志望学科，専攻，氏名，生年月日
- ② 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合がある。）
- ③ 受験の際，特別な配慮を希望する事項及び内容
- ④ 高等学校等在学中にとられていた措置
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ 本人の現住所及び電話番号，保護者の連絡先

(3) 問い合わせ先

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号
鹿児島県立短期大学学生部教務課 電話 099-220-1112（内線136番）

《入試に関する参考資料》

○ 平成31年度入試における募集人員・受験者数等

① 一般入試

推薦入試後の募集人員である。

学 科	専 攻	募集人員	志願者	受験者	合格者	追 加 合格者	入 学 辞退者	入学者
文 学 科	日本語日本文学専攻	20名	92名	83名	58名	4名	39名	23名
	英語英文学専攻	20	122	116	56	15	48	23
生 活 科 学 科	食 物 栄 養 専 攻	20	74	67	34	10	24	20
	生 活 科 学 専 攻	18	44	44	37	0	9	28
商 経 学 科	経 済 専 攻	25	95	83	52	8	33	27
	経 営 情 報 専 攻	25	70	67	42	0	7	35
第 二 部 商 経 学 科 (二次募集含む)		43	44	41	39	0	1	38

② 推薦・特別推薦・有職者特別・社会人入試

区 分	学 科	専 攻	募集人員	志願者	受験者	合格者	追 加 合格者	入 学 辞退者	入学者
推 薦	文 学 科	日本語日本文学専攻	10名	10名	10名	10名	0名	0名	10名
		英語英文学専攻	10	11	11	10	0	0	10
	生 活 科 学 科	食 物 栄 養 専 攻	10	17	17	10	0	0	10
		生 活 科 学 専 攻	13	13	13	12	0	0	12
	商 経 学 科	経 済 専 攻	10	13	13	10	0	0	10
		経 営 情 報 専 攻	15	20	20	15	0	0	15
特 別 推 薦	第 二 部 商 経 学 科		30	23	23	23	0	1	22
有 職 者 特 別	第 二 部 商 経 学 科		若干名	4	4	4	0	1	3
社 会 人	第 一 部 商 経 学 科		若干名	0	0	0	0	0	0

③ 私費外国人留学生入試

学 科	専 攻	募集人員	志願者	受験者	合格者	追 加 合格者	入 学 辞退者	入学者
第一部 (全学科)	第一部 (全専攻)	若干名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

○ 平成31年度合格者の最高点・最低点・平均点

① 一般入試

学 科	専 攻	配点合計	合 格 者		
			最高点	最低点	平均点
文 学 科	日本語日本文学専攻	800	660	473	547
	英語英文学専攻	800	750	579	621
生活科学科	食物栄養専攻	800	673	517	582
	生活科学専攻	700	592	411	461
商 経 学 科	経 済 専 攻	800	686	514	567
	経 営 情 報 専 攻	800	667	487	535
第二部 商経学科		200	165	100	140

(注) ア 本表の「合格者」は入学辞退者を含み、追加合格者を含まない。

イ 「経済専攻」欄は、経営情報専攻志願者で経済専攻で合格者となった併願者を含めて算出している。

② 推薦・特別推薦・有職者特別入試

区 分	学 科	専 攻	配点合計	合 格 者		
				最高点	最低点	平均点
推 薦	文 学 科	日本語日本文学専攻	300	267	233	252
		英語英文学専攻	300	250	224	238
	生活科学科	食物栄養専攻	300	257	234	245
		生活科学専攻	300	260	235	247
	商 経 学 科	経 済 専 攻	300	264	245	255
		経 営 情 報 専 攻	300	262	238	247
特別推薦	第二部 商経学科		200	170	130	150
有職者特別	第二部 商経学科		100	87	77	82

○ 令和2年度一般入試における教科・科目の配点

学 科	専 攻	大学入試センター試験の利用教科・科目等			個別学力検査	大学入試センター試験・個別学力検査の配点等							特別の選抜方法等					
		教科	科 目	名 等		試験区分	国 語	地 理	公 民	数 学	理 科	外 国 語		総合問題	面接	総合得点		
文 学 科	日本語 日本文学専攻	国	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1	国 語	センター試験	200	200				200			600			
						個別学力検査	200								200		200	
						計	400	200						200			800	推薦 私費外国人
英 語 英文学専攻	国	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1	外 国 語	センター試験	200	100				300			600				
					個別学力検査					200					200		追加合格 第2次募集	
					計	200	100				200			500			800	
食 物 栄 養 専 攻	国	教I, 教A, 教II, 教II・教B	から1	総合問題	センター試験	200		200			200			600				
					個別学力検査						200				200		推薦 私費外国人	
					計	200		200			200			200			800	
生 活 科 学 科	生活科学専攻	国	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1	面 接	センター試験	200		200					600				
						個別学力検査							100			100		追加合格 第2次募集
						計	200		200				100			200		700
商 経 学 科	経済専攻	国	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1	総合問題	センター試験	200		200					600				
						個別学力検査								200		200		推薦 社会人
						計	200		200					200		200		800
商 経 学 科	経営情報専攻	国	世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1	総合問題	センター試験	200		200					600				
						個別学力検査								200		200		追加合格 第2次募集
						計	200		200					200		200		800
第 二 部 商 経 学 科					総合問題	個別学力検査						200		200				
						計							200		200		特別推薦 第2次選考 有職者特別 追加合格 第2次募集	

① 「国語」と「外国語」以外の選択科目については、最も得点の高い科目を合否判定に利用する。第2解答科目は合否判定に利用しない。
 ② ただし、「地理歴史・公民」及び「理科（基礎を付していない）」において2科目を受験した場合、第2解答科目は合否判定に利用しない。
 ③ 「化学基礎」および「生物基礎」は2科目を受験し、その合計点とする。
 ④ 英語英文学専攻、食物栄養専攻、生活科学専攻を受験する場合は、英語の筆記テストの点数を各専攻の配点に応じて換算する。
 ただし、大学入試センターの受験特別措置により「英語」のリスニングテストが免除された者については、失格とはせず、英語の筆記テストの点数を各専攻の配点に応じて換算する。

○ 推薦・社会人・特別推薦・有職者特別入試における配点

区 分	学 科	専 攻	配 点			総合得点
			小論文	面 接	調査書	
推 薦	文 学 科	日本語日本文学専攻	100	* 100	100	300
		英語英文学専攻	100	100	* 100	300
	生活科学科	食物栄養専攻	100	100	* 100	300
		生活科学専攻	100	100	* 100	300
	商経学科	経 済 専 攻	100	* 100	100	300
		経 営 情 報 専 攻	100	* 100	100	300
社 会 人	商経学科	経 済 専 攻	100	* 100	—	200
		経 営 情 報 専 攻	100	* 100	—	200
特別推薦	第二部 商経学科		100	* 100	—	200
有職者特別	第二部 商経学科		—	* 100	—	100

(注) *印は、推薦書・志望理由書等の評点を含む。

○ 面接（一般・推薦・社会人・特別推薦・有職者特別入試）

区分	学 科	専 攻	面 接 の 形 態		面 接 時 間	評 価 事 項
			個人面接	面接者数		
一 般	生活科学科	生活科学専攻	○	3人	8～10分	志望動機およびこれまでの活動・経験などを通じて、専攻への適性を評価する。
推 薦	文 学 科	日本語日本文学専攻	○	4～5	10	学習意欲・目的意識などを通じて、専攻への適性を評価する。
		英語英文学専攻	○	3～5	15	同 上
	生活科学科	食物栄養専攻	○	3～5	10	〃
		生活科学専攻	○	3～5	10	〃
	商 経 学 科	経 済 専 攻	○	3	10	〃
		経 営 情 報 専 攻	○	3	10	〃
社 会 人	商 経 学 科	経 済 専 攻	○	3	10	〃
		経 営 情 報 専 攻	○	3	10	〃
特別推薦	第二部 商経学科		○	3	10	〃
有職者特別	第二部 商経学科		○	3	10	〃

(注) ① 受験者数等により、「面接の形態」、「面接時間」を変更することがある。

② 英語英文学専攻においては、面接で実用英語技能検定の二次試験に類するものを課す。

一般入試 生活科学専攻「自己アピール書」の書き方 Q & A

- Q 1. 自己アピール書はどのように評価されますか。
- A. 自己アピール書の点数化は行いません。面接において、これまでの活動や経験を確認するための資料とします。
- Q 2. 自己アピール書の様式は決まっていますか。
- A. 様式はありません。A 4 サイズの用紙（片面）2 枚以内であれば、用紙の種類、レイアウト、手書き・ワープロ、文字数などを含めて自由に作成してください。ただし、氏名と在籍（出身）高等学校名は必ず記載してください。
- Q 3. 自己アピール書を作成する時のポイントを教えてください。
- A. 次のような点に留意して、自分自身の多面的な能力を表現してください。
- ① これまでの活動や経験を客観的に説明すること
 - ② アピールしたいポイントを明確に表現すること
 - ③ 生活科学専攻のアドミッションポリシーにおける教育理念・目標や求める人材を理解していること
- Q 4. 資格・検定や受賞歴などを証明する書類の提出が必要ですか。
- A. 資格・検定や受賞歴が自己アピールに必要な場合は、証明する書類のコピーや画像を縮小したもの（主なもの3点以内）を自己アピール書の一部としてレイアウトしてください。
- Q 5. 自己アピール書以外に、ビデオ、CD、作品などを提出することはできますか。
- A. 提出できません。提出できるのは自己アピール書のみです。作品の画像を貼り付けるなどの方法で、自己アピール書の内容に盛り込んでください。自己アピール書そのものをひとつの作品として作成してもかまいません。なお、面接時に作品などを持ち込むこともできません。
- Q 6. 社会活動の実績や受賞歴、競技歴などはどのように評価されるのですか。
- A. 実績や受賞歴そのものを評価するものではありません。様々な活動（学業、生徒会活動、クラブ活動、社会活動、創作活動、趣味・特技など）に主体的に取り組むことにより、自分がどのように成長し、それを将来につなげていくかを具体的に述べてください。
- Q 7. どのような資格・検定を持っていると有利ですか。
- A. 資格・検定の種類や級・グレードによる評価区分は設けません。高校までの学業をもとに取得してきた資格・検定について、どのような目的意識をもって取得に取り組み、努力したかを具体的に述べてください。

※ 入試情報開示について

鹿児島県立短期大学では、令和2年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示する予定です。

1 開示内容

(1) 試験成績

【得点】

① 一般入試

大学入試センターの個々の科目及び個別学力検査等科目の得点（傾斜配点がある場合は傾斜配点後の得点）並びに総合得点を開示します。

② その他の入試

小論文、面接、調査書、その他関係書類により点数化して総合得点により選考する場合は、その個々の得点及び総合得点を開示します。

【順位】 総合得点による順位を開示します。

(2) 調査書

「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄の記載を除いて開示します。

ただし、郵送による開示請求の場合は開示しません。

2 開示期間

令和2年5月1日～6月30日の9時から17時まで

ただし、土・日曜日、祝日を除く。

3 開示請求方法

【請求者】 本学の受験者本人に限ります。

【請求方法】

(1) 窓口での請求

開示を希望する受験者は、学生部教務課に本学の受験票等を持参のうえ、右記「開示請求書」により請求できます。

(2) 郵送による請求

遠隔地等の理由により、来学が困難な受験者は、右記「開示請求書」、本学の受験票等及び書留郵便料金を貼った返信用封筒を同封した書留郵便により請求できます。

(3) 請求・開示場所

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号

鹿児島県立短期大学学生部教務課

【開示方法】

窓口での請求の場合は、書面又は閲覧により開示します。

郵送による請求の場合は書面により開示します。

ただし、郵送の場合は調査書は開示しません。

4 その他

開示に関し疑義が生じた場合には、開示を保留し、鹿児島県立短期大学委員会規程に定める「全学運営委員会」において審議のうえ、後日、本人に文書にて開示又は不開示の報告をします。

入 試 情 報 開 示 請 求 書

令和 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

請求者

住所

電話

氏名

試験区分

- 一般入試
- 一般入試（第二次募集）
- 推薦入試
- 特別推薦入試
- 社会人入試
- 有職者特別入試
- 私費外国人留学生入試
- 転学・再入学選考

受験学科 _____ 学科
_____ 専攻
受験番号 _____

私の入試情報について、下記のとおり開示を請求します。

記

試 験 成 績

証 紙 販 売 人 一 覧

下記の販売人の中には、希望する証紙を取り扱っていない場合があるので、事前に電話等で確認の上、購入すること。

(令和元年7月現在)

市 町 村	販 売 場 所	名 称	電話番号
鹿 児 島 市	山下町11-1 鹿児島市保健所内 山下町9-15 県林業会館内 新屋敷町17-26 鹿児島中央警察署内 東開町1 鹿児島南警察署内 上之園町24-4 県不動産会館内 小川町3-56 鹿児島地域振興局本庁舎売店 谷山港2-4-10 県陸運会館内 城西3-8-10 東開町1-8 県計量検定所内 鴨池新町10-1 県警察本部内 上荒田町29-33 山下町14-50 かごしま県民交流センター内 郡元3-3-32 県獣医師会館内 南栄5-1-2 県交通安全教育センター内 下伊敷1丁目10番2号 玉里自動車学校 鴨池新町10-1 鹿児島県庁内売店 喜入町7096	鹿児島市食品衛生協会 (一般社団法人) 鹿児島県猟友会 (公財) 鹿児島県交通安全協会鹿児島中央地区協会 (公財) 鹿児島県交通安全協会鹿児島南地区協会 (公益社団法人) 鹿児島県宅地建物取引業協会 鹿児島県職員生活協同組合 (一般社団法人) 鹿児島県自家用自動車協会 (公財) 鹿児島県交通安全協会 鹿児島西地区協会 (一般社団法人) 鹿児島県計量協会 (公益財団法人) 鹿児島県防犯協会 (一般社団法人) 鹿児島県建築士事務所協会 鹿児島県職員生活協同組合 鹿児島県養鶏協会 (公益財団法人) 鹿児島県交通安全協会 榊玉里自動車学校 鹿児島県職員生活協同組合 いぶすき農業協同組合 喜入支所	099-803-6885 099-222-9449 099-224-0864 099-268-8000 099-252-7111 099-805-7410 099-261-9155 099-255-3440 099-284-9112 099-259-7884 099-251-9887 099-221-6636 099-812-8850 099-269-7565 099-226-5050 099-286-5451 0993-45-1211
鹿 屋 市	寿3-8-30 鹿屋警察署内 打馬2-16-6 鹿屋保健所内 吾平町麓3338-4 西大手町1-1 共栄町20-1 鹿屋市役所本庁舎地下1階 札元1-13-30 鹿屋寿自動車学校	(公財) 鹿児島県交通安全協会鹿屋地区協会 鹿屋地区食品衛生協会 肝付吾平町農業協同組合 鹿屋食肉組合 鹿屋市母子寡婦福祉会 榊鹿屋寿自動車学校	0994-43-6973 0994-41-0815 0994-58-6511 0994-43-2073 0994-43-2111 0994-43-2627
枕 崎 市	千代田町29 枕崎市役所 中央町189 枕崎警察署内	枕崎市役所職員労働組合 (公財) 鹿児島県交通安全協会枕崎地区協会	0993-72-9265 0993-72-7496
阿 久 根 市	赤瀬川3852-2 阿久根警察署内 脇本7526-7 鶴見町200 阿久根市役所本庁舎1階	(公財) 鹿児島県交通安全協会阿久根地区協会 鹿児島県食肉生活衛生同業組合 阿久根支部 阿久根市	0996-73-1063 0996-75-2323 0996-73-1211
奄 美 市	名瀬浜町5-2 奄美警察署内 名瀬永田町17-3 名瀬大字有屋1066 名瀬永田町17-3 大島支庁内 笠利町大字里796番地1 名瀬平田町30-25 奄美自動車学校内 名瀬幸町25-8 奄美市役所内	(公財) 鹿児島県交通安全協会奄美地区協会 奄美地区食品衛生協会 奄美市名瀬食肉組合 鹿児島県職員生活協同組合 あまみ農業協同組合 岩井観光開発株式会社 (有) スライブ	0997-54-7710 0997-53-8580 0997-52-1665 0997-54-2145 0997-63-1611 0997-52-5611 0997-55-1821
出 水 市	中央町925 出水警察署内 昭和町18-18 出水保健所内 緑町1-3 出水市役所内 高尾野町柴引64 柴田薬局	(公財) 鹿児島県交通安全協会出水地区協会 出水地区食品衛生協会 出水市職員等労働組合連合会 柴田 一徳	0996-63-3343 0996-62-1636 0996-63-2111 0996-82-0032
伊 佐 市	大口里53-1 大口里2791 伊佐警察署内 大口里53-1 始良・伊佐地域振興局大口支所内	鹿児島県食肉生活衛生同業組合 大口支部 (公財) 鹿児島県交通安全協会伊佐地区協会 伊佐地区食品衛生協会	0995-22-0305 0995-22-6370 0995-23-5106
指 宿 市	十二町301 南薩地域振興局指宿支所内 西方1601 十町2424 指宿市役所内	指宿地区食品衛生協会 (公財) 鹿児島県交通安全協会指宿地区協会 指宿市職員互助会	0993-23-3854 0993-24-2080 0993-22-2111
西 之 表 市	西之表16381-9 種子島警察署内 西之表7590 西之表保健所内	(公財) 鹿児島県交通安全協会種子島地区協会 種子島地区食品衛生協会	0997-23-2298 0997-22-0032
垂 水 市	田神45 鹿屋警察署垂水幹部派出所内 上町114 垂水市役所内 海潟542-3	(公財) 鹿児島県交通安全協会垂水地区協会 (公益社団法人) 鹿児島県建築士会 垂水支部 鹿児島県食肉生活衛生同業組合 垂水支部	0994-32-2901 0994-32-1111 0994-32-0531
薩 摩 川 内 市	神田町3-22 薩摩川内市役所内 原田町1-2 薩摩川内警察署内 隈之城町228-1 川薩保健所内 神田町1-22 北薩地域振興局本庁舎内 樋脇町市比野字宮元174番地1 入来町浦之名7161 有限会社古川商店 上甕町中甕490-2 薩摩川内警察署甕島幹部派出所内	薩摩川内市職員厚生会 (公財) 鹿児島県交通安全協会薩摩川内地区協会 川薩地区食品衛生協会 鹿児島県職員生活協同組合 北さつま農業協同組合 樋脇支所 古川 忠利 (公財) 鹿児島県交通安全協会甕島地区協会	0996-23-5111 0996-25-3100 0996-26-0434 0996-23-5627 0996-38-0004 0996-44-2069 09969-2-0163
日 置 市	伊集院町徳重1-11-1 日置警察署内 伊集院町下谷口1960-1 伊集院保健所内	(公財) 鹿児島県交通安全協会日置地区協会 日置地区食品衛生協会	099-273-1566 099-273-2332

市町村	販売場所	名称	電話番号
曾於市	大隅町中之内8951 曾於警察署内 末吉町上町4-5-5	(公財)鹿児島県交通安全協会曾於地区協会 鹿児島県食肉生活衛生同業組合 末吉支部	0994-82-3983 0986-76-4566
霧島市	国分中央3-44-22 霧島警察署内 横川町中ノ1400-1 横川警察署内 牧園町宿窪田1365-1 隼人町松永3320-16 始良保健所内 国分中央3-9-20 霧島市市民サービスセンター 隼人町真考123 国分隼人自動車学校 隼人町内2352-1 空港自動車学校	(公財)鹿児島県交通安全協会霧島地区協会 (公財)鹿児島県交通安全協会横川地区協会 あいら農業協同組合 牧園統括支店 始良地区食品衛生協会 霧島市 隼人自動車学校 隼鹿屋寿自動車学校	0995-46-2432 0995-72-0155 0995-76-1121 0995-73-4074 0995-46-1337 0995-42-6111 0995-42-8583
いちき串木野市	東島平町6227 いちき串木野警察署内 西塩田町63-2 昭和通133-1	(公財)鹿児島県交通安全協会いちき串木野地区協会 有限会社 串木野自動車教習所 いちき串木野市身体障害者協会	0996-32-6668 0996-32-9222 0996-32-3111
南さつま市	加世田地頭所町1-2 南さつま警察署内 加世田内山田80 加世田村原2-1-1 加世田保健所内 加世田東本町8-13 南薩地域振興局本庁舎内 大浦町1987 加世田川畑2648番地 南さつま市役所内	(公財)鹿児島県交通安全協会南さつま地区協会 加世田食肉組合 南薩地区食品衛生協会 鹿児島県職員生活協同組合 南さつま農業協同組合 大笠支所 南さつま市職員労働組合	0993-78-3119 0993-53-2661 0993-53-2315 0993-53-8165 0993-62-2121 0993-53-3127
志布志市	志布志町志布志3245 志布志警察署内 志布志町志布志2-1-11 志布志保健所内 志布志町志布志1-8-8 有明町野井倉1756 志布志市役所内	(公財)鹿児島県交通安全協会志布志地区協会 曾於地区食品衛生協会 鹿児島県食肉生活衛生同業組合 志布志支部 志布志市開田の村管理組合	0994-72-4507 0994-73-3096 0994-72-0166 099-474-1111
南九州市	知覧町郡4980-3 南九州警察署内 知覧町郡4210-18 南薩家畜保健衛生所内 川辺町平山6633-2 穎娃町牧之内2830 南九州市役所穎娃支所内 知覧町東別府19552 知覧高等自動車学校	(公財)鹿児島県交通安全協会南九州地区協会 川辺地区獣医師会 南さつま農業協同組合 川辺支所 南九州市 山元物産有限会社	0993-83-1147 0993-83-2156 0993-56-1121 0993-36-1111 0993-85-3205
さつま町	宮之城屋地1565-2 さつま町役場内 轟町22-2 さつま警察署内	さつま町職員組合 (公財)鹿児島県交通安全協会さつま地区協会	0996-53-1111 0996-53-0987
長島町	鷹巣1875-1 長島町役場本庁舎内 指江787 長島町役場指江庁舎内	長島町職員互助会 長島町職員互助会	0996-86-1111 0996-88-5511
始良市	東餅田3885-1 始良警察署内 加治木町木田1641-1 始良家畜保健衛生所内 加治木町諏訪町12 始良・伊佐地域振興局本庁舎内 東餅田3937 県運転免許試験場内 東餅田336 始良市市民サービスセンター 加治木町木田須崎1396-5 鹿児島県自動車学校	(公財)鹿児島県交通安全協会始良地区協会 始良地区獣医師会 鹿児島県職員生活協同組合 (公益財団法人)鹿児島県交通安全協会 始良市 隼人自動車学校	0995-73-5765 0995-62-3070 0995-62-0490 0995-65-1537 0995-66-3116 0995-62-7111
湧水町	木場54-1	合資会社西書店	0995-74-2118
大崎町	仮宿1029 大崎町役場内	大崎町衛生自治会	099-476-1111
錦江町	馬場438番地 錦江警察署内	(公財)鹿児島県交通安全協会錦江地区協会	0994-22-2673
肝付町	前田3550 新富4934-1 肝付警察署内 前田838-2	鹿児島県食肉生活衛生同業組合 高山支部 (公財)鹿児島県交通安全協会肝付地区協会 山下 正敏	090-8222-7519 0994-65-0618 0994-65-2036
中種子町	野間5281	種子屋久農業協同組合 本部	0997-27-1211
南種子町	中之上2450	種子屋久農業協同組合 南種子支所	0997-26-1211
屋久島町	宮之浦104 安房304-42 屋久島警察署内 安房650 屋久島保健所内 尾之間351	有限会社 塚田精肉店 (公財)鹿児島県交通安全協会屋久島地区協会 屋久島地区食品衛生協会 種子屋久農業協同組合	0997-42-0139 0997-46-4060 0997-46-2024 0997-47-2211
大和村	大和浜100 大和村役場内	大和村職員労働組合	0997-57-2870
宇檢村	湯湾915 宇檢村役場内	宇檢村職員互助会	0997-67-2211
瀬戸内町	古仁屋1283-155 瀬戸内警察署内	(公財)鹿児島県交通安全協会瀬戸内地区協会	0997-72-4391
龍郷町	浦110 龍郷町役場内	龍郷町職員組合	0997-62-3806
喜界町	湾46 湾1746 喜界町役場内	(公財)鹿児島県交通安全協会喜界地区協会 あまみ農業協同組合	0997-65-0616 0997-65-0003
徳之島町	亀津4943-2 徳之島保健所内 亀津4946-1 徳之島警察署内 亀津宇霜田5789	徳之島地区食品衛生協会 (公財)鹿児島県交通安全協会徳之島地区協会 徳之島食肉センター加工販売連合組合	0997-82-0149 0997-83-3265 0997-82-1390
天城町	平土野2691-1 天城町役場内	あまみ農業協同組合	0997-85-6161
和泊町	和泊120 沖永良部警察署内 和泊578-1	(公財)鹿児島県交通安全協会沖永良部地区協会 あまみ農業協同組合	0997-81-4880 0997-92-1221
知名町	瀬利覚2117	あまみ農業協同組合	0997-93-2155
与論町	茶花64 茶花2092-1 沖永良部警察署与論幹部派出所内	あまみ農業協同組合 (公財)鹿児島県交通安全協会与論地区協会	0997-97-3121 0997-97-5115

鹿児島県立短期大学入学志願票 (令和2年度)

※受験番号

※入試区分	第一部 (昼間課程)	1 一般入試	大学入試センター試験成績請求票貼付欄 ※ 第一部一般入試を選択した場合 請求票(私立大学・公私立短期大学用)を のりで貼付してください。 (注) はがれないようにのり付けすること。			
		2 推薦入試				
		3 社会人入試				
	4 一般入試					
	第二部 (夜間課程)	(5) 特別推薦入試 特別推薦入試に合格しなかった場合に、再度一般入試(第二部商経学科)を				(1) 受験する (2) 受験しない
		6 有職者特別入試				
ふりがな	けんたん	はなこ	性別	(男・女)		
氏名	(氏) 県短	(名) 花子	生年月日	昭和 平成 13年 9月 8日		
現住所	(〒890-0005) 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号 (電話番号099-220-1112) ※ (自宇勤務先) (携帯電話090-1234-5678)					
合格通知 等送付先	(〒890-0005) (注)宛名シールに記入した送付先と同一であること。 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号 (電話番号099-220-1112)					
入学 資格	鹿児島(都道府県) 島津 高等学校 普通科	昭和 平成 2年	卒業	※		
	高等学校	(都道府県)	学校()	昭和 平成 年		
	卒業 以外の者	高等学校卒業 程度認定試験 (大学入学資格検定)	(昭和 平成 令和) 年	(合格 合格見込)	その他	
志望学科 ・専攻	(1) 日本語日本文学 (2) 英語英文学 (3) 食物栄養 (4) 生活科学 (5) 経済 (1) (6) 経営情報 (2) (7) 第二部商経学科 ※					
※(11)一般入試併願希望の記入例 ※(12)特別推薦入試第二次選考希望の記入例 鹿児島県収入証紙貼付欄(収入印紙は不可) (第一部 18,000円) (第二部 18,000円) (注)・為替証書は貼らないこと。 ・重ねて貼らないこと。 ・枠が足りない時は、裏面を使用すること。						

(注意) 1 記入にあたっては、40ページ「入学志願票等の記入上の注意」をよく読むこと。
 2 太線の枠内のみ記入すること。()内はいずれかを○で囲むこと。

鹿児島県立短期大学
受験票 (令和2年度)

受験番号	※	
志望学科 ・ 専攻	1 日本語日本文学 2 英語日本文学 3 食物栄養 4 生活科学 5 経済 () 6 経営情報 () 7 第二部商経学科	
氏名		
第二部特別推薦入試 志望者のみ記入	不合格の場合、 一般入試を (1 受験する) (2 受験しない)	
入学検定料 納入確認印	写真貼付 上半身正面向き脱帽 出願前3か月以内に 撮影したカラー写真 4 cm × 3 cm	

- (注意) 1 太線の枠内のみ記入すること。
 () 内はいずれかを○で囲むこと。
 2 本受験票は受験当日必ず携行し、受験の際には机上に置くこと。
 3 第一部一般入試受験者は、**センター試験受**も必ず携行し、受験の際は机上に置くこと。
 4 第一部商経学科の併願希望者は、第一希望の試験室で受験すること。

鹿児島県立短期大学

(令和2年度)

入学志願者写真票

受験番号	※	
ふりがな		
氏名		
性別	(男 ・ 女)	
生年月日	昭和 平成 年 月 日 (歳)	

写真貼付

上半身正面向き脱帽

出願前3か月以内に
撮影したカラー写真

4 cm × 3 cm

(切り は な さ な い) と)

鹿児島県立短期大学入学志願票 (令和2年度)

※受験番号

入試区分	第一部 (風間課程)	1 一般入試	大学入試センター試験成績請求票貼付欄 第二部一般入試を選択した場合 請求票 (私立大学・公立短期大学用) を のりで貼付してください。 (注) はがれないようにのり付けすること。		
	第二部 (夜間課程)	2 推薦入試			
		3 社会入試			
		4 一般入試			
ふりがな (氏)	5 特別推薦入試 特別推薦入試に合格しなかった場合に、再度一般入試 (第二部商経学科) を (1 受験する)				
	6 有職者特別入試				
氏名	(名)	性別	(男 ・ 女)	生年月日	昭和 平成 年 月 日
現住所	(千 ー)	(電話番号 携帯電話)		(自 宅 勤務先)	(一 一)
合格通知 等送付先	(千 ー)	(宛名シールに記入した送付先と同一であること。)		(電話番号)	(一 ー)
入 学 資 格	(都 道 府 県)	高等学校	科 コース	昭和 平成 令和 年 (卒業見込)	(卒 業)
	(都 道 府 県)	学校 ()	(昭 和 平 成 令 和)	年 (卒業見込)	(卒 業)
志望学科 ・ 専攻	1 日本語日本文学	2 英語日本文学	3 食物栄養	4 生活科学	5 経済 ()
鹿児島県収入証紙貼付欄 (収入印紙は不可)		6 経営情報 ()	7 第二部商経学科		
(第一部 18,000円) (第二部 18,000円)		(注) ・ 為替証書は貼らないこと。 ・ 重ねて貼らないこと。 ・ 枠が足りない時は、裏面を使用すること。			

- (注意) 1 記入にあたっては、40ページ「入学志願票等の記入上の注意」をよく読むこと。
 2 太線の枠内のみ記入すること。() 内はいずれかを○で囲むこと。

受験者への諸注意

- 1 一般入試の受験者（第二部前期経学科を除く）は、この受験票のほかに、大学入試センター試験受験票を持参すること。なお、受験票を紛失又は忘れた者は、本部（教務課）に申し出る。また、センター試験の受験票を持参しなかった者は、監督者から別途指示を受けること。
- 2 筆記試験の受験者は、
 - (1) 受験者入室開始の時刻になったら各試験室に入ること。
 - (2) 荷物は持って入室すること。（携帯電話等の電子機器類は、電源を切っておくこと）なお、コート、ジャンパー等防寒着は着用してよい。
 - (3) 「始め」の合図で試験を開始する。
 - (4) 「止め」の合図で試験を終了し、監督者が解答用紙を回収し終わるまで着席して待つ。その後、監督者の指示により静かに退室すること。
 - (5) 試験終了時刻まで中途退室はできない。ただし、やむを得ない理由で退室を希望する者は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
 - (6) 試験時間中、机の上に受験票を示しておくこと。
 - (7) 解答用紙には、受験番号と解答のみを記入すること。
 - (8) 原則として下敷の使用は許可しない。ただし、その必要があるときは、監督者の許可を得て使用すること。
 - (9) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置くものは、鉛筆（シャーペン・シルも可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）、眼鏡である。これ以外の所持品は、自分の席の椅子の下に置くこと。
 - (10) 解答の下書き等は、問題冊子の余白を利用すること。
 - (11) 問題の内容に対する説明は一切しない。印刷に不明な箇所があるときは、手を挙げて監督者に申し出ること。
- 3 面接試験の受験者は、
 - (1) 所定の時刻までに決められた面接控室に集合すること。
 - (2) 受験票を監督者の要請に応じて提示すること。
 - (3) 監督者の指示に従い、面接控室から面接室に移動すること。
 - (4) 面接控室を出る時は、荷物を持ち、面接室前の机に置いてから面接室に入室すること。
 - (5) 面接終了後は、監督者の指示に従って帰るすること。
- 4 遅刻者は、試験開始後30分までは入室を許可する。生活科学専攻の一般入試（面接）においては、指定された面接時間前における試験開始後30分までは面接控室への入室を許可する。
- 5 不正行為を行った場合は、監督者が直ちに退室を命じ、本年度の受験資格を取り消す。
- 6 試験時間中の用便は、原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
- 7 当日、身体の具合が悪い受験者は、教務課（又は監督者）に申し出ること。また、試験時間中に具合が悪くなった受験者は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
- 8 受験票には、入学手続き及び成績開示請求時に必要となるので保管しておくこと。

宛名シール（合格通知用）

□ □ □ □ □ □ □

(住 所)

様方

(名 前)

様

(電話番号 - -)

※

※は受験番号

宛名シール記入上の注意

- 1 「様」を「行き」に修正しないこと。
- 2 卒業後、不在となる①学校、②寮、③下宿の住所は記載しないこと。

速 達

8 9 0 - 0 0 0 5

鹿児島市下伊敷一丁目五十二番一号

鹿児島県立短期大学学生部教務課御中

書 留

速 達

(出願書類在中)

郵便局引受番号

第一志望学科等	学 科
	専 攻
入 試 区 分	一般入試・推薦入試・特別推薦入試 社会人入試・有職者特別入試 私費外国人留学生入試・転学・再入学選考
差出人(志願者)	住 所 〒□□□-□□□□
	氏 名

◎ 封筒の中に下記の書類を入れること。

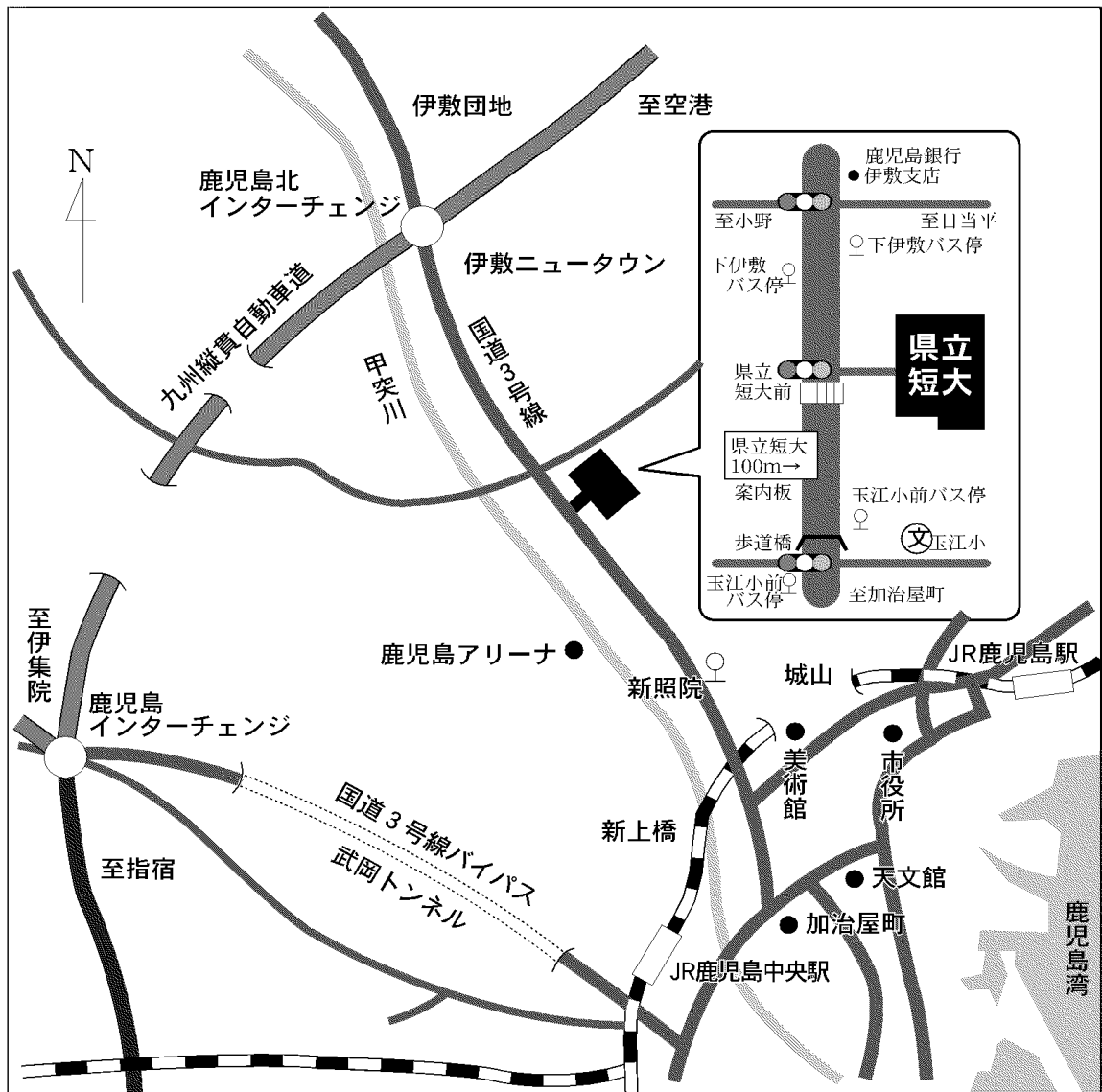
(郵送の場合は、必ず書留速達郵便で送付すること。なお、郵便ポストにはそのまま投函しないこと。)

出 願 書 類		確 認 欄				
		一 般	推 薦	特 別 推 薦	社会人	有職者 特別
1	入学志願票，写真票及び受験票 ① 収入証紙は，必ず入学志願票の貼付欄に貼付のこと。 ただし，県外居住者等は郵便局発行の普通為替証書の同封により代えることができる。 ② 第一部一般入試を選択した場合，入学志願票に 大学入試センター試験成績請求票（私立大学・公私立短期大学用） を貼付のこと。					
2	宛名シール					
3	調査書(合格成績証明書等)			/	/	/
4	志望理由書 ・ 推薦入試の場合，文化・芸術・技能面における顕著な成績や資格を証明する書類の写し（A4サイズ）を添付すること。	/				
5	推薦書	/				/
6	履歴書 ・ 特別推薦入試の場合，高等学校長が推薦書に調査書を添付した場合は，省略できる。	/	/			
7	卒業証明書等 ・ 特別推薦入試の場合，高等学校長が推薦書に調査書を添付した場合は，省略できる。	/	/			
8	通学許諾書（有職者の場合）	/	/	/	/	/
9	有職者であること，あるいは就職の内定を得ていることを証明するもの	/	/	/	/	
10	受験票送付用返信封筒（生活科学科生活科学専攻の一般入試以外で，本学窓口を持参の場合は不要） ・ 長形3号の封筒に，氏名・住所・郵便番号を明記の上，82円切手を貼付すること。					
11	自己アピール書（生活科学科生活科学専攻の一般入試のみ）		/	/	/	/

(注) 1 この封筒に入れたものについて，確認欄に○印を付すること。

2 出願書類に不備，記入もれなどがある場合は，受け付けないので，十分注意すること。

3 私費外国人留学生入試，転学・再入学選考の志願者は，出願書類を記載したページで再確認すること。



- 鹿児島中央駅から、タクシー15分
- 鹿児島中央駅前から、鹿児島交通バス・JR九州バス・市営バス（伊敷方面行）で「玉江小前」下車、徒歩5分
- 天文館方面から、各社の国道3号線経由伊敷方面行バスで「玉江小前」下車、徒歩5分

鹿児島県立短期大学学生部教務課

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号

☎ (099) 220-1112 (内線 136番)

FAX (099) 803-4473

【ホームページ】 <http://www.k-kentan.ac.jp/>

【E-mailアドレス】 kentankyo@pref.kagoshima.lg.jp